

2. 市政情報の入手方法と効果的な発信について

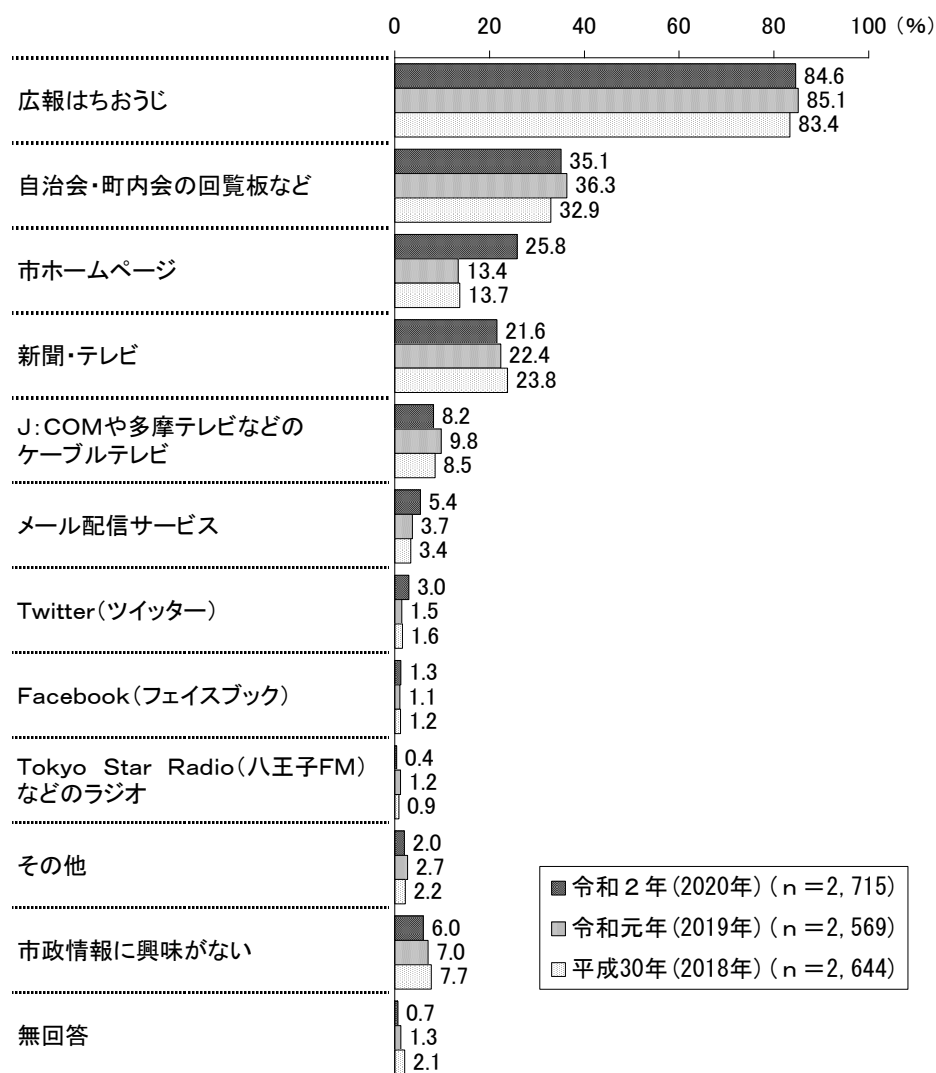
(1) 市政情報の入手方法

◇「広報はちおうじ」が8割台半ば

問8 あなたは、市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ていますか。

（〇はいくつでも）

図2-1-1 市政情報の入手方法—全体、経年比較

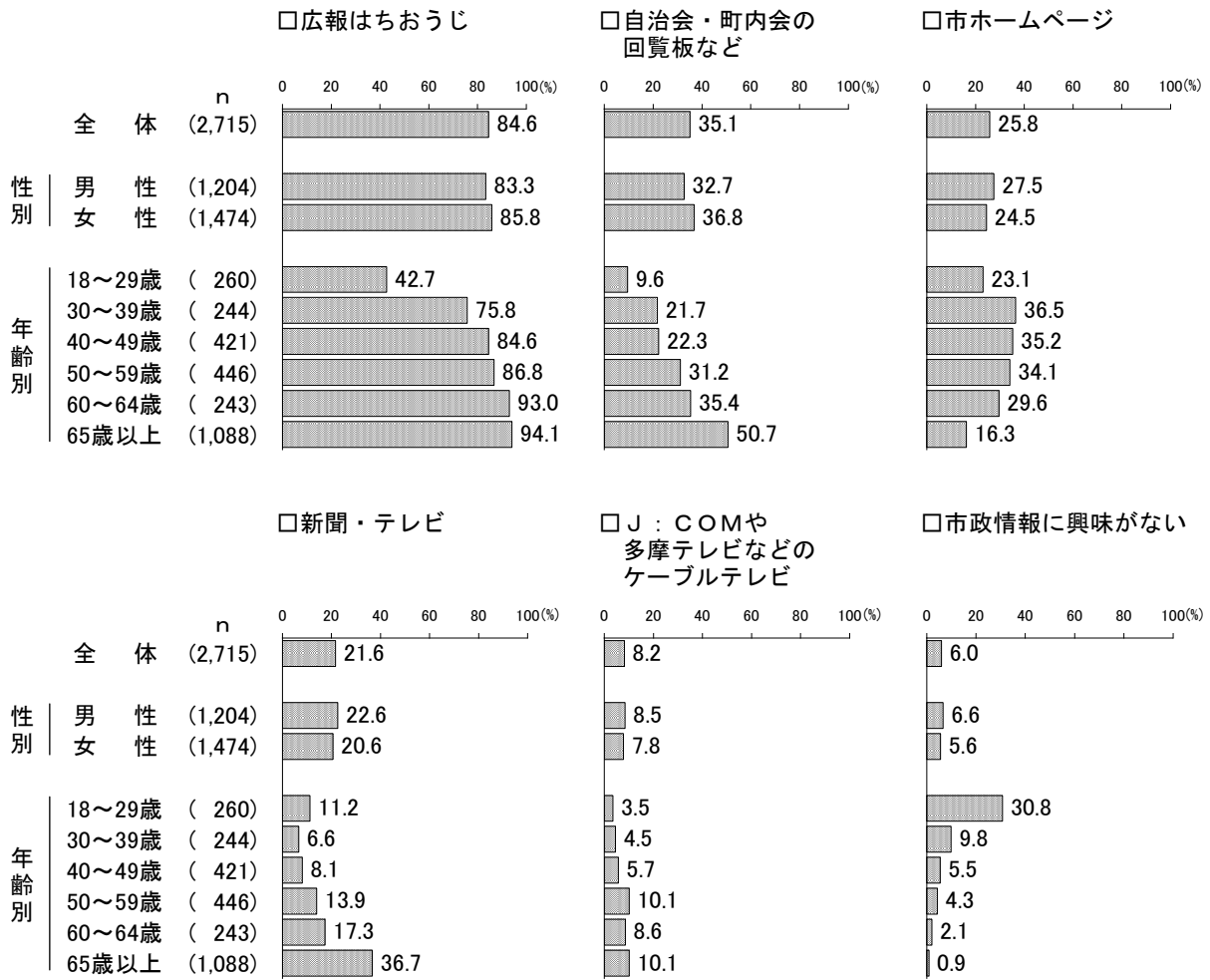


(注)「Tokyo Star Radio(八王子FM)などのラジオ」は、令和元年(2019年)までは、「八王子FMなどのラジオ」としていた。

市政情報（市の制度やイベントの情報など）を何から得ているか聞いたところ、「広報はちおうじ」(84.6%)が8割台半ばで最も多くなっている。次いで「自治会・町内会の回覧板など」(35.1%)、「市ホームページ」(25.8%)、「新聞・テレビ」(21.6%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「市ホームページ」は令和元年(2019年)(13.4%)より12.4ポイント増加している。(図2-1-1)

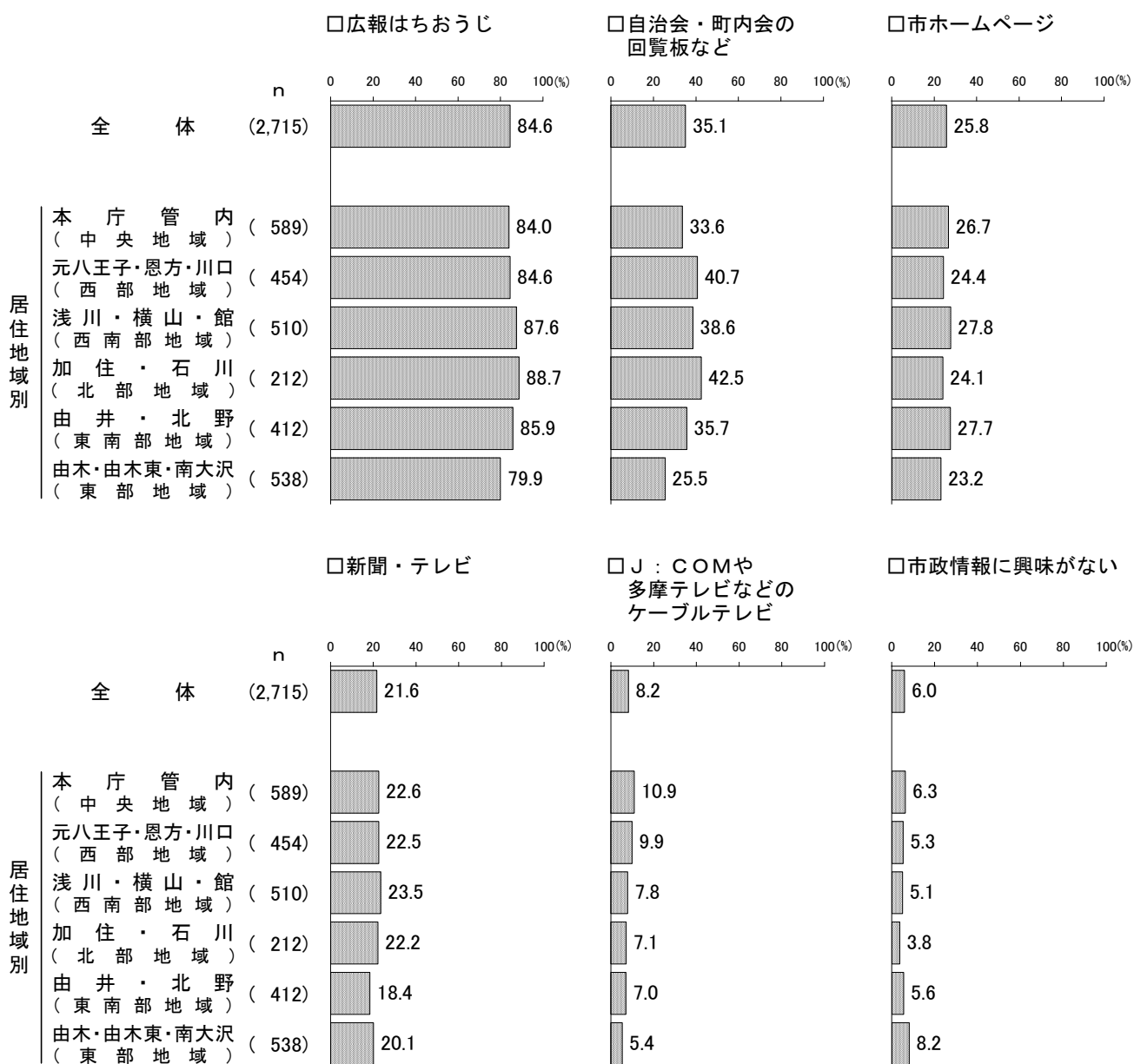
図2-1-2 市政情報の入手方法—性別、年齢別（上位5位+「市政情報に興味がない」）



性別にみると、「自治会・町内会の回覧板など」は女性（36.8%）が男性（32.7%）より4.1ポイント高くなっている。一方、「市ホームページ」は男性（27.5%）が女性（24.5%）より3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（94.1%）で9割台半ばと多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（50.7%）で約5割と多くなっている。「新聞・テレビ」は65歳以上（36.7%）で4割近くと多くなっている。（図2-1-2）

図2-1-3 市政情報の入手方法—居住地域別（上位5位+「市政情報に興味がない」）



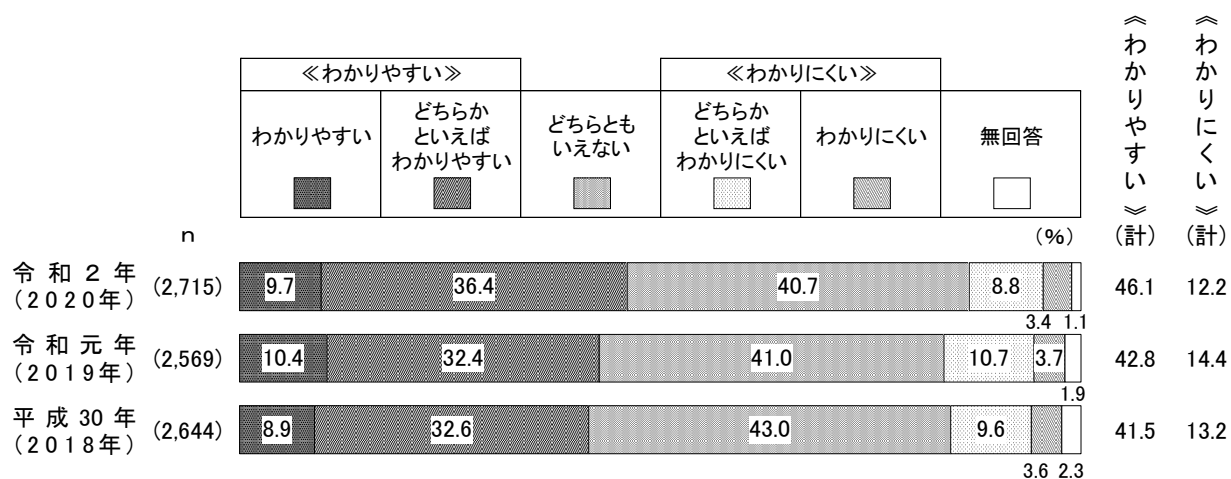
居住地域別にみると、「自治会・町内会の回覧板など」は加住・石川(北部地域) (42.5%) で4割強、元八王子・恩方・川口(西部地域) (40.7%) で約4割と多くなっている。(図2-1-3)

(2) 市政情報のわかりやすさ

◇《わかりやすい》が5割近く

問9 あなたは、市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思いますか。(○は1つだけ)

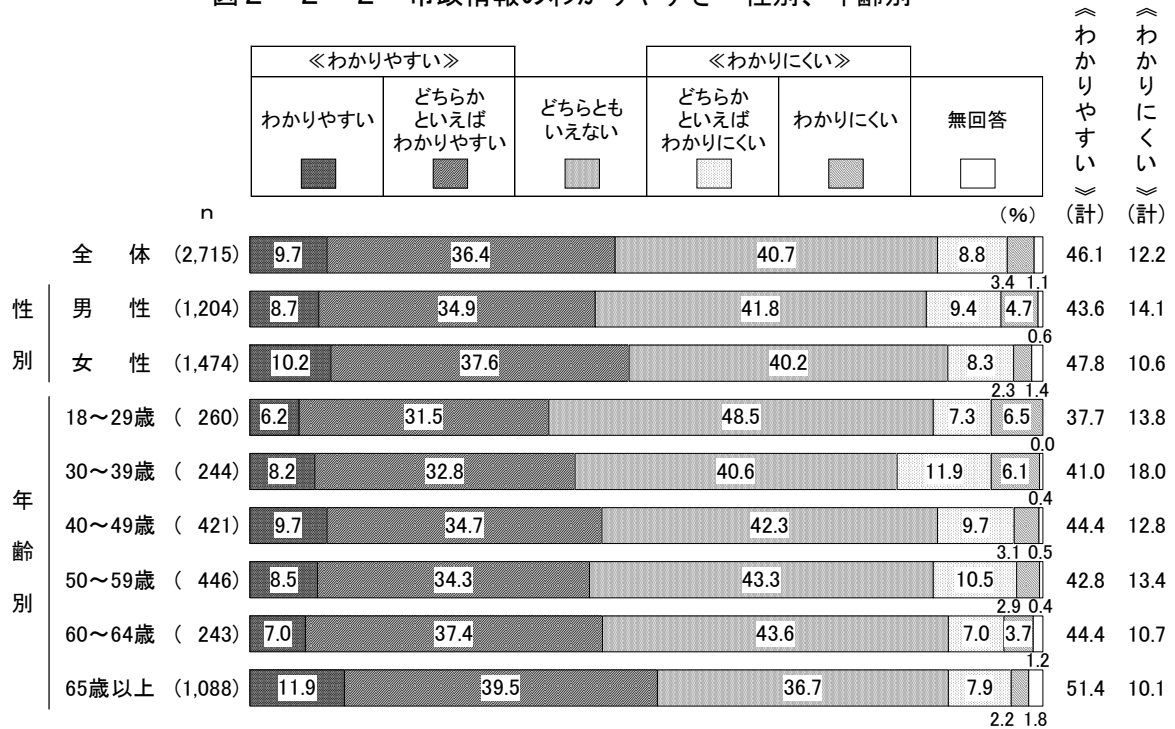
図2-2-1 市政情報のわかりやすさー全体、経年比較



市政情報が適切にわかりやすく提供されていると思うか聞いたところ、「わかりやすい」(9.7%)と「どちらかといえばわかりやすい」(36.4%)を合わせた《わかりやすい》(46.1%)は5割近くとなっている。一方、「どちらかといえばわかりにくい」(8.8%)と「わかりにくい」(3.4%)を合わせた《わかりにくい》(12.2%)は1割強となっている。また、「どちらともいえない」(40.7%)は約4割となっている。

前回までの調査と比較すると、《わかりやすい》は令和元年(2019年)(42.8%)より3.3ポイント増加している。(図2-2-1)

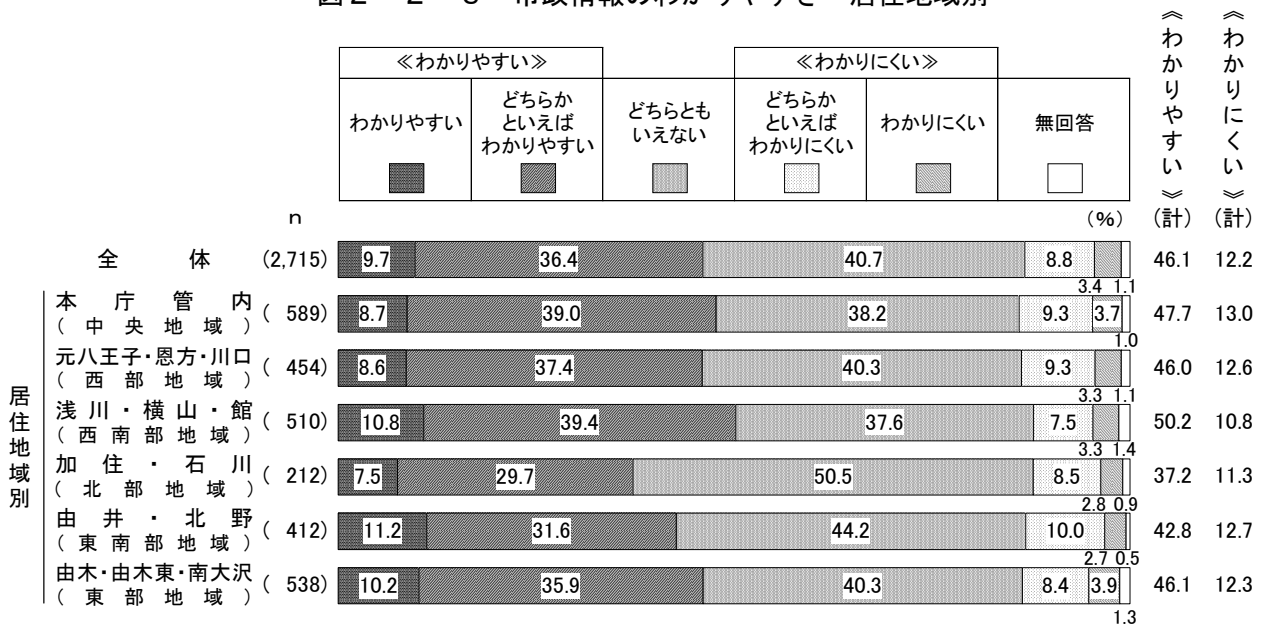
図 2-2-2 市政情報のわかりやすさ－性別、年齢別



性別にみると、《わかりやすい》は女性（47.8%）が男性（43.6%）より4.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《わかりやすい》は65歳以上（51.4%）で5割強と多くなっている。一方、《わかりにくい》は30～39歳（18.0%）で2割近くとなっている。（図2-2-2）

図 2-2-3 市政情報のわかりやすさ－居住地域別



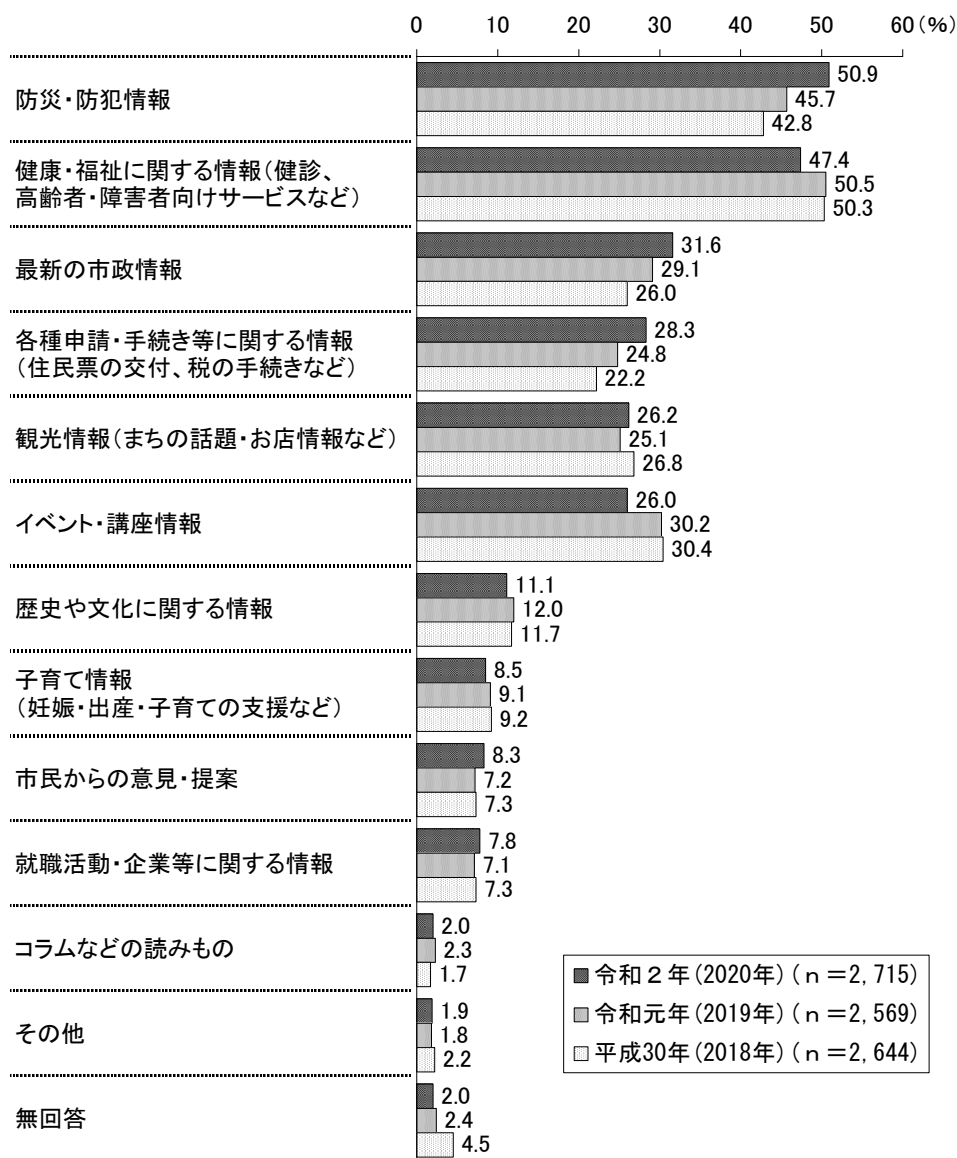
居住地域別にみると、《わかりやすい》は浅川・横山・館（西南部地域）（50.2%）で約5割と多くなっている。（図2-2-3）

(3) 関心のある情報や発信してほしい情報

◇「防災・防犯情報」が約5割

問10 あなたが関心のある情報、または発信してほしい情報を教えてください。(〇は3つまで)

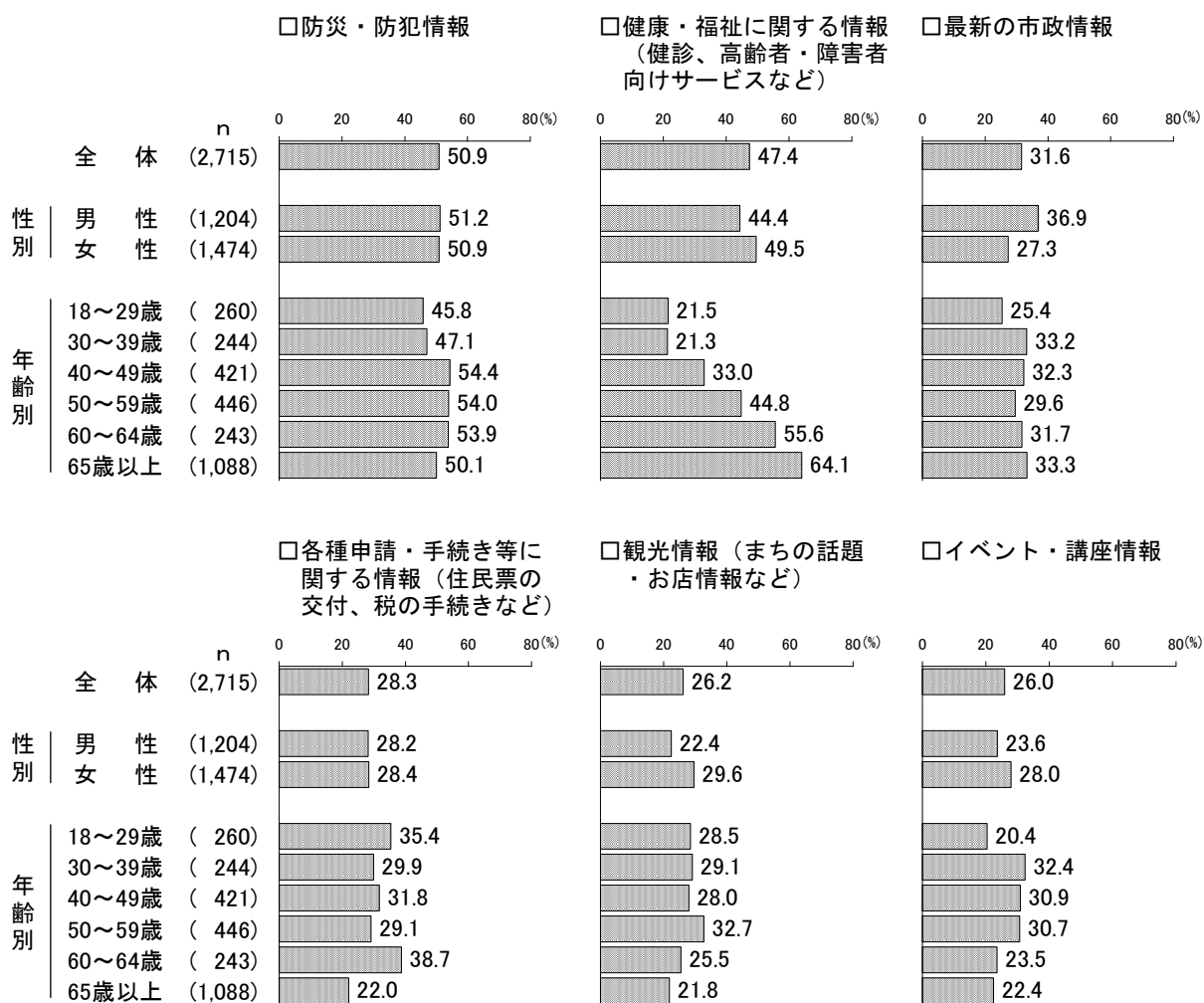
図2-3-1 関心のある情報や発信してほしい情報—全体、経年比較



関心のある情報、または発信してほしい情報を聞いたところ、「防災・防犯情報」(50.9%)が約5割で最も多くなっている。次いで「健康・福祉に関する情報(健診、高齢者・障害者向けサービスなど)」(47.4%)、「最新の市政情報」(31.6%)、「各種申請・手続き等に関する情報(住民票の交付、税の手続きなど)」(28.3%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「防災・防犯情報」は令和元年(2019年)(45.7%)より5.2ポイント増加している。一方、「イベント・講座情報」は令和元年(2019年)(30.2%)より4.2ポイント減少している。(図2-3-1)

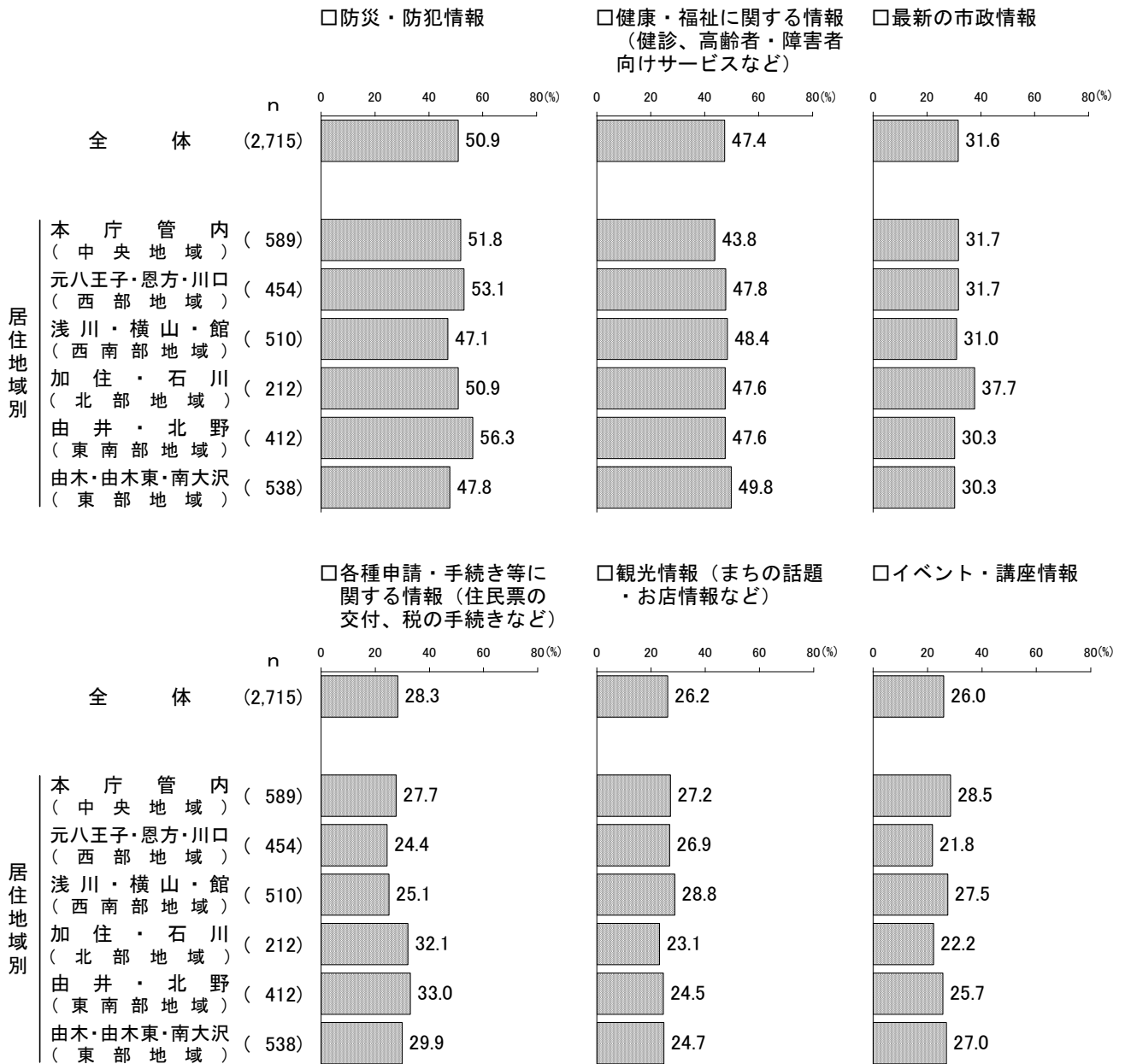
図2-3-2 関心のある情報や発信してほしい情報－性別、年齢別（上位6位）



性別にみると、「最新の市政情報」は男性（36.9%）が女性（27.3%）より9.6ポイント高くなっている。一方、「観光情報（まちの話題・お店情報など）」は女性（29.6%）が男性（22.4%）より7.2ポイント、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は女性（49.5%）が男性（44.4%）より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」はおおむね年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（64.1%）で6割台半ばと多くなっている。「各種申請・手続き等に関する情報（住民票の交付、税の手続きなど）」は60～64歳（38.7%）で4割近くと多くなっている。「観光情報（まちの話題・お店情報など）」は50～59歳（32.7%）で3割強と多くなっている。（図2-3-2）

図2-3-3 関心のある情報や発信してほしい情報－居住地域別（上位6位）



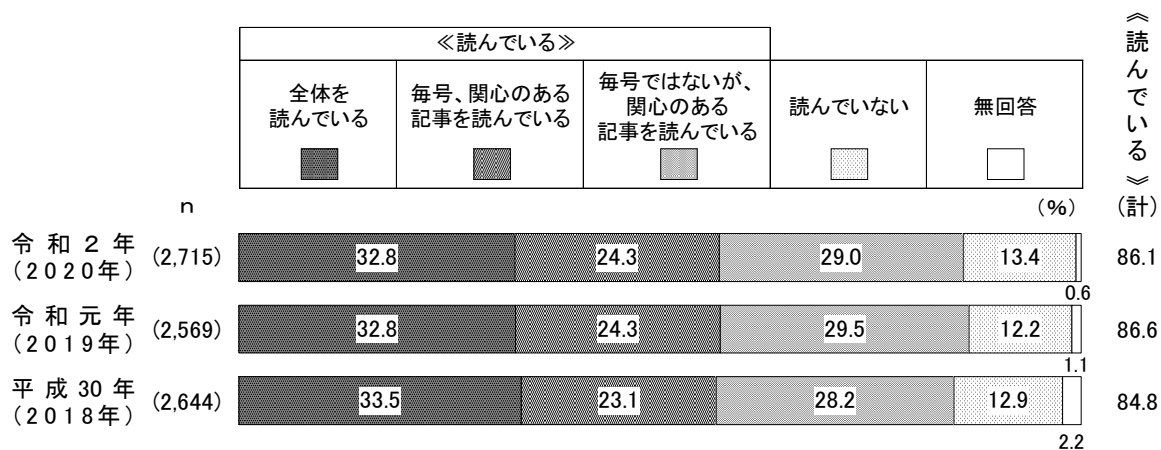
居住地域別にみると、「防災・防犯情報」は由井・北野（東南部地域）（56.3%）で6割近くと多くなっている。「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（49.8%）で5割弱と多くなっている。「最新の市政情報」は加住・石川（北部地域）（37.7%）で4割近くと多くなっている。（図2-3-3）

(4) 「広報はちおうじ」の利用状況

◇「読んでいます」が9割近く

問11 あなたは、「広報はちおうじ」を読んでいますか。(○は1つだけ)

図2-4-1 「広報はちおうじ」の利用状況—全体、経年比較

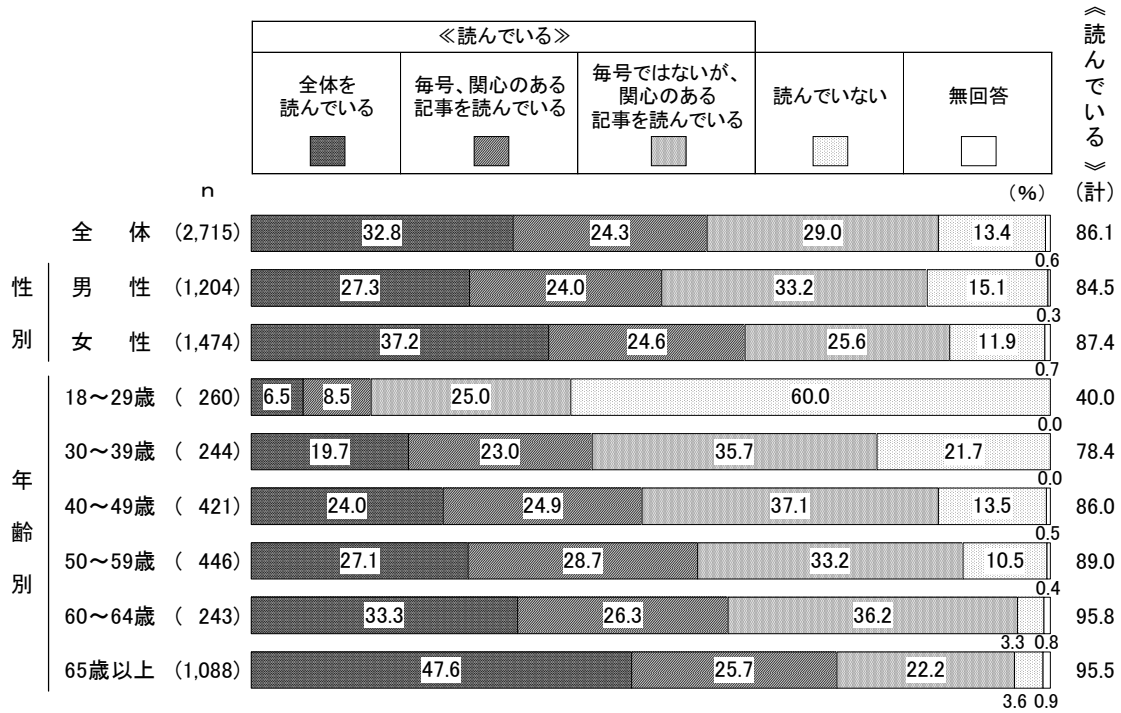


「広報はちおうじ」を読んでいるか聞いたところ、「全体を読んでいる」(32.8%)、「毎号、関心のある記事を読んでいる」(24.3%)、「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」(29.0%)の3つを合わせた《読んでいます》(86.1%)は9割近くとなっている。一方、「読んでいない」(13.4%)は1割強となっている。

前回までの調査と比較すると、令和元年(2019年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-4-1)

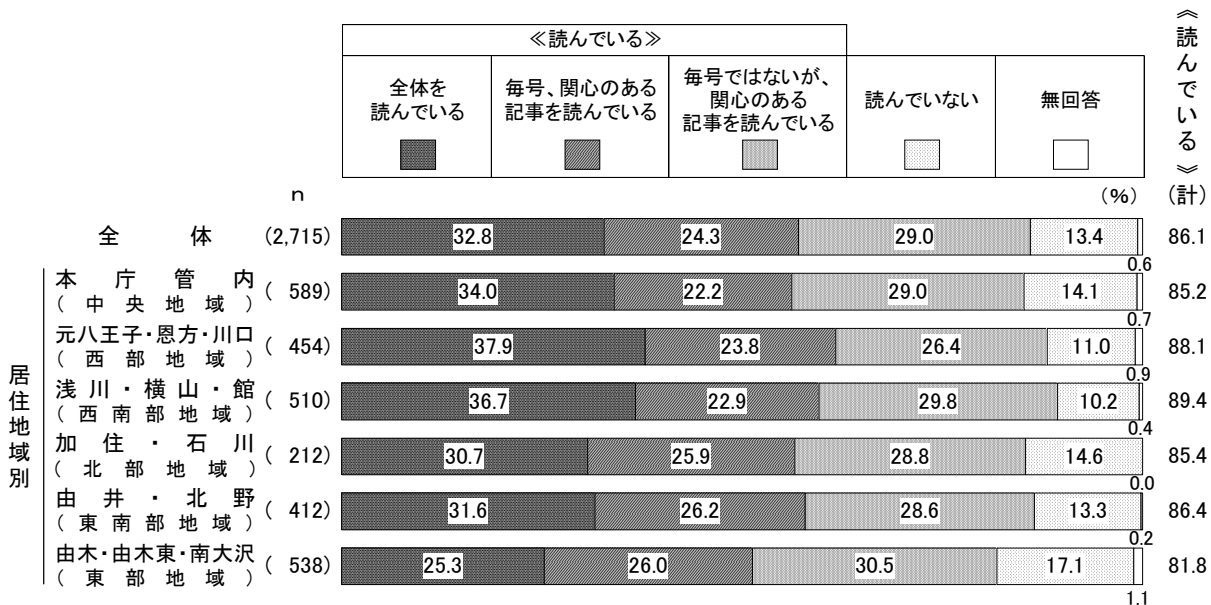
図2-4-2 「広報はちおうじ」の利用状況－性別、年齢別



性別にみると、《読んでいる》は女性（87.4%）が男性（84.5%）より2.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《読んでいる》はおおむね年代が高くなるほど割合が高く、60～64歳（95.8%）と65歳以上（95.5%）で9割台半ばと多くなっている。（図2-4-2）

図2-4-3 「広報はちおうじ」の利用状況－居住地域別



居住地域別にみると、《読んでいる》は浅川・横山・館（西南部地域）（89.4%）で9割弱と多くなっている。（図2-4-3）

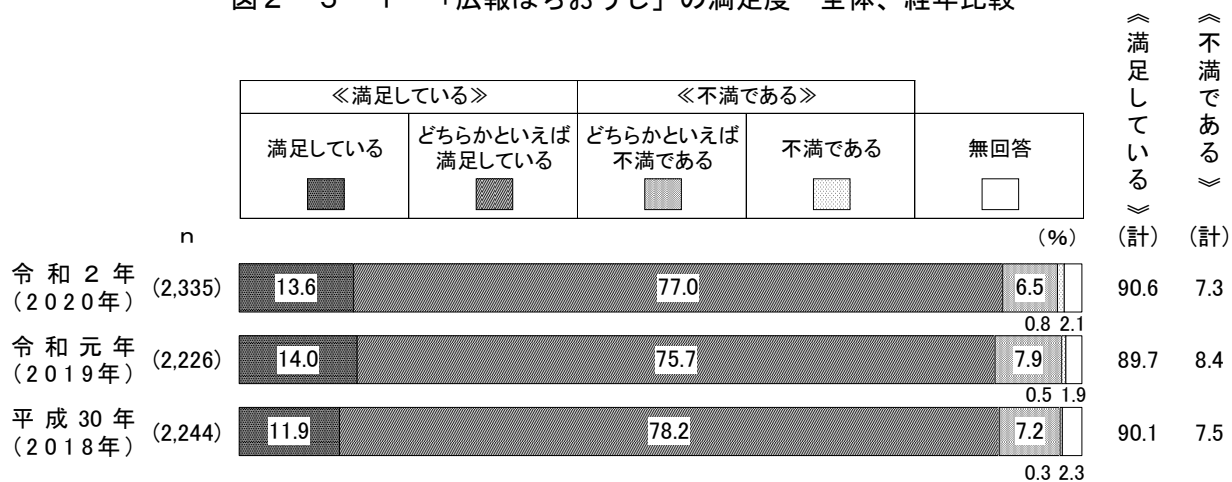
(5) 「広報はちおうじ」の満足度

◇《満足している》が約9割

(問11で「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」とお答えの方へ)

問11-1 「広報はちおうじ」について、感想をお選びください。(○は1つだけ)

図2-5-1 「広報はちおうじ」の満足度-全体、経年比較

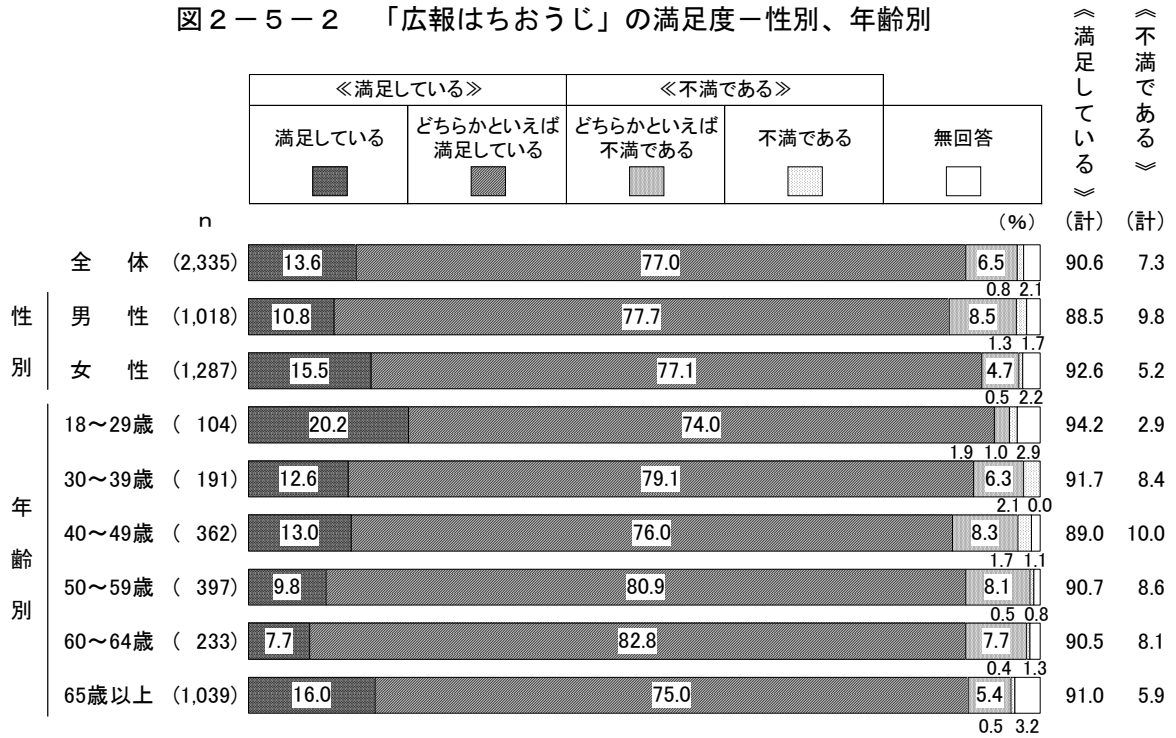


「広報はちおうじ」の利用状況で、「全体を読んでいる」「毎号、関心のある記事を読んでいる」「毎号ではないが、関心のある記事を読んでいる」と回答した2,335人に、その感想を聞いたところ、「満足している」(13.6%)と「どちらかといえば満足している」(77.0%)を合わせた《満足している》(90.6%)は約9割となっている。一方、「どちらかといえば不満である」(6.5%)と「不満である」(0.8%)を合わせた《不満である》(7.3%)は1割未満となっている。

前回までの調査と比較すると、令和元年(2019年)と大きな傾向の違いはみられない。

(図2-5-1)

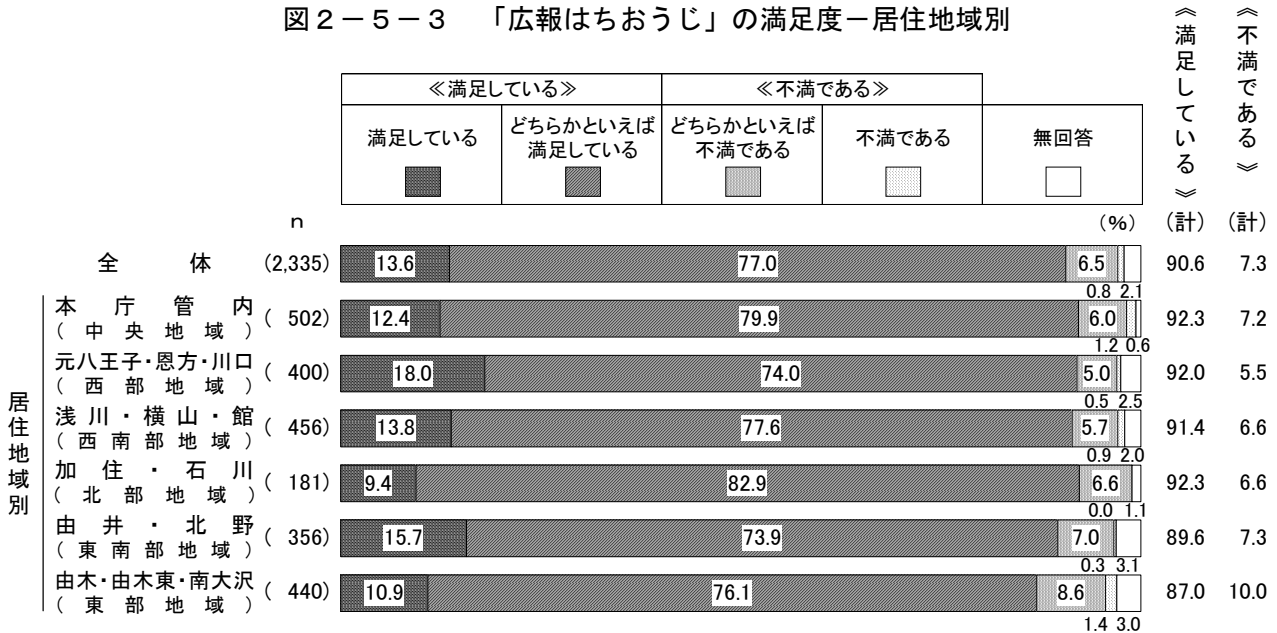
図2-5-2 「広報はちおうじ」の満足度－性別、年齢別



性別にみると、《満足している》は女性（92.6%）が男性（88.5%）より4.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、《満足している》は18～29歳（94.2%）で9割台半ばと多くなっている。一方、《不満である》は40～49歳（10.0%）で1割となっている。（図2-5-2）

図2-5-3 「広報はちおうじ」の満足度－居住地域別



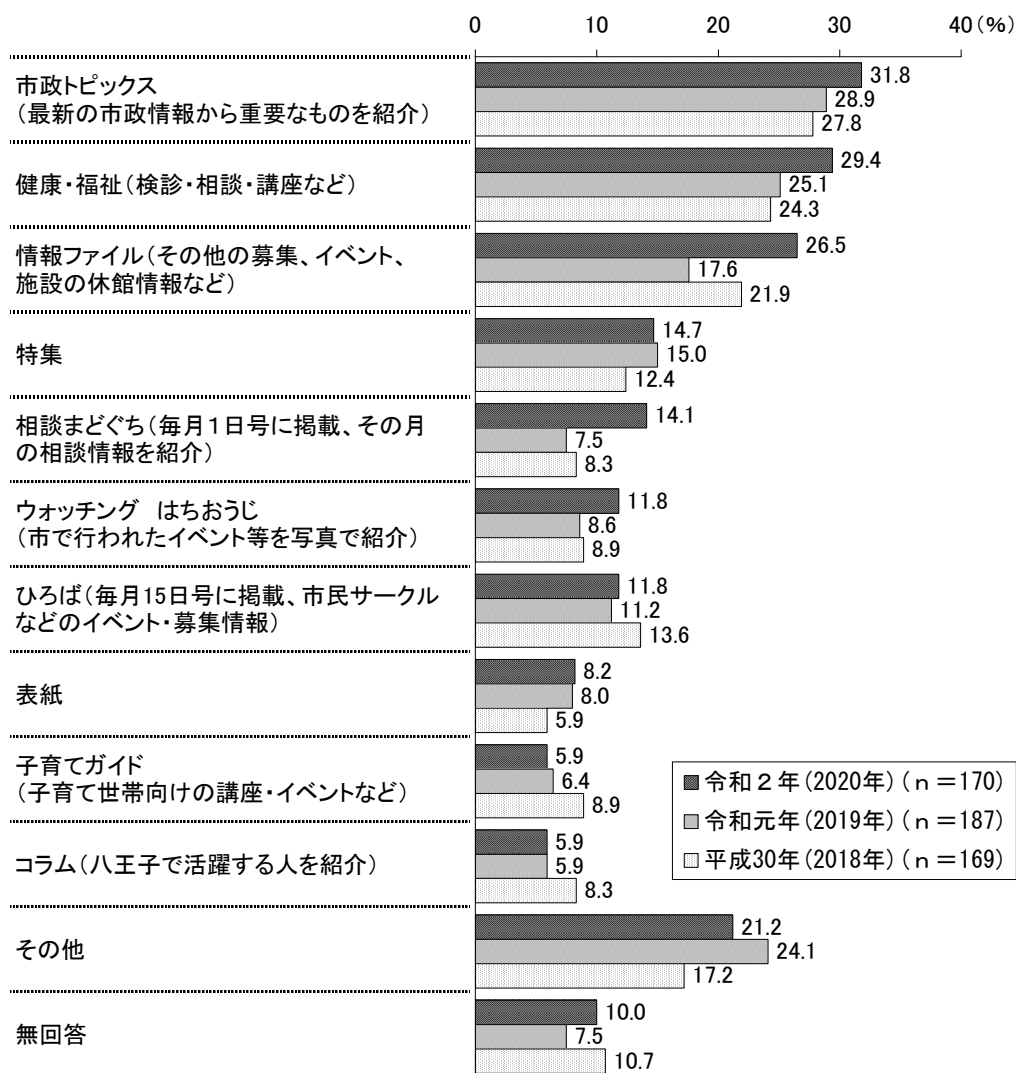
居住地域別にみると、《不満である》は由木・由木東・南大沢（東部地域）（10.0%）で1割となっている。（図2-5-3）

(6) 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー

◇「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」が3割強

(問11-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方へ)
問11-1-1 不満であると特に感じるコーナーを教えてください。(〇は3つまで)

図2-6-1 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—全体、経年比較

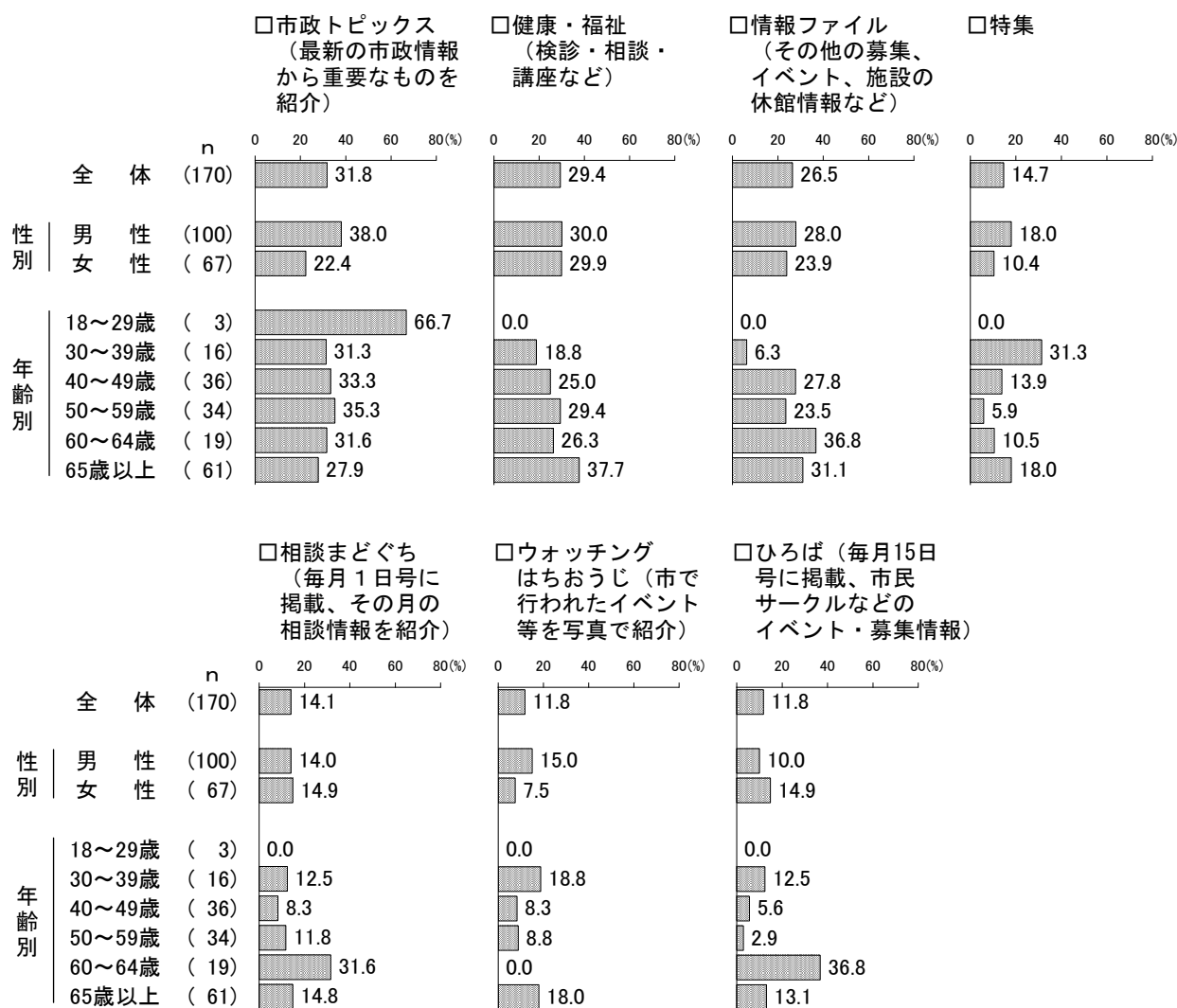


(注)「コラム(八王子で活躍する人を紹介)」は、平成30年(2018年)までは、「フォーカス 八王子人」としていた。

「広報はちおうじ」についての感想で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した170人に、特に不満を感じるコーナーを聞いたところ、「市政トピックス(最新の市政情報から重要なものを紹介)」(31.8%)が3割強で最も多くなっている。次いで「健康・福祉(検診・相談・講座など)」(29.4%)、「情報ファイル(その他の募集、イベント、施設の休館情報など)」(26.5%)、「特集」(14.7%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「情報ファイル(その他の募集、イベント、施設の休館情報など)」は令和元年(2019年)(17.6%)より8.9ポイント増加している。(図2-6-1)

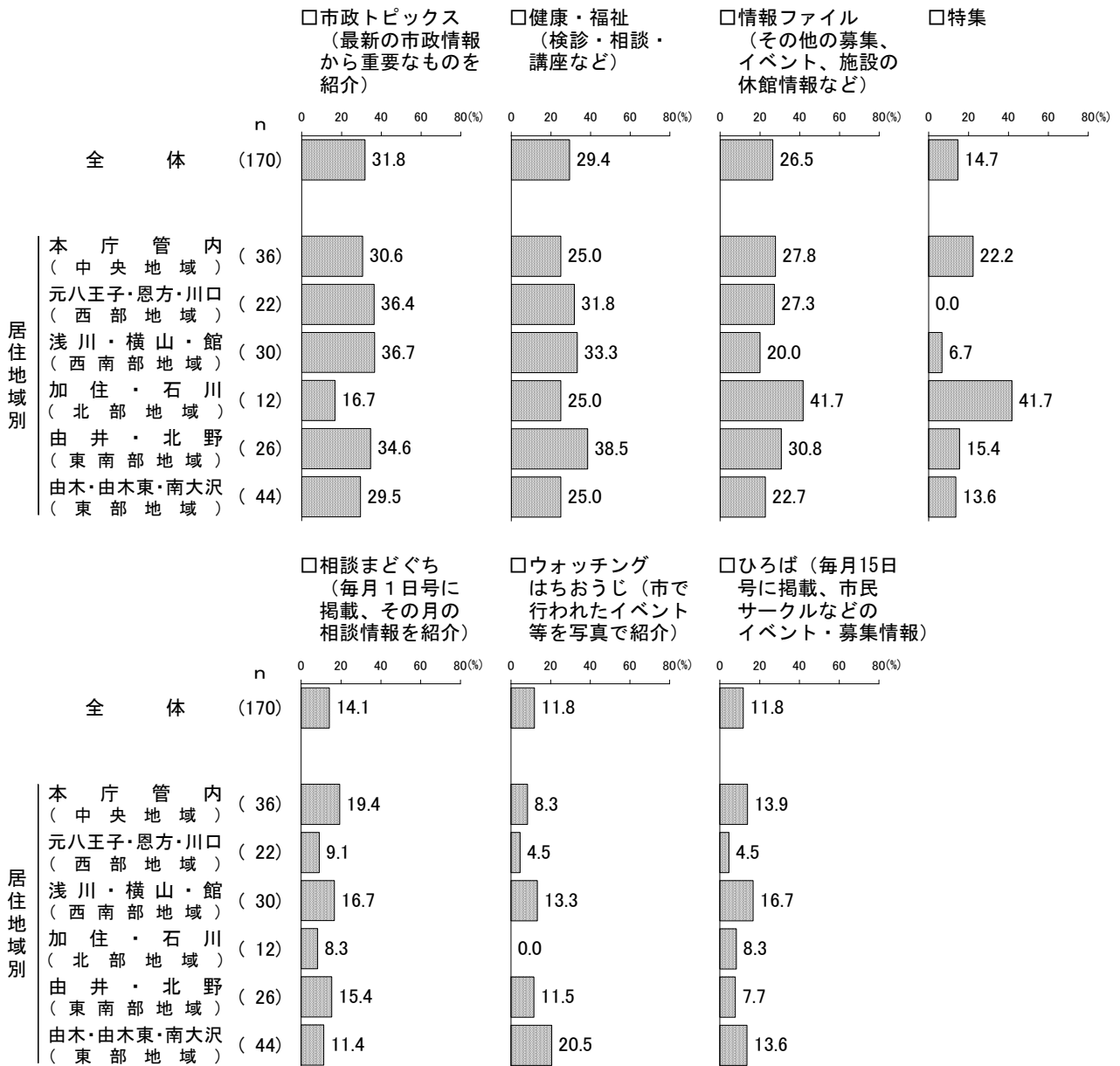
図 2-6-2 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—性別、年齢別（上位 6 位）



性別にみると、「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」は男性（38.0%）が女性（22.4%）より15.6ポイント、「特集」は男性（18.0%）が女性（10.4%）より7.6ポイント、「ウォッチング はちおうじ（市で行われたイベント等を写真で紹介）」は男性（15.0%）が女性（7.5%）より7.5ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別にみると、「健康・福祉（検診・相談・講座など）」は65歳以上（37.7%）で4割近くと多くなっている。（図 2-6-2）

図 2-6-3 「広報はちおうじ」で不満を感じるコーナー—居住地域別（上位 6 位）



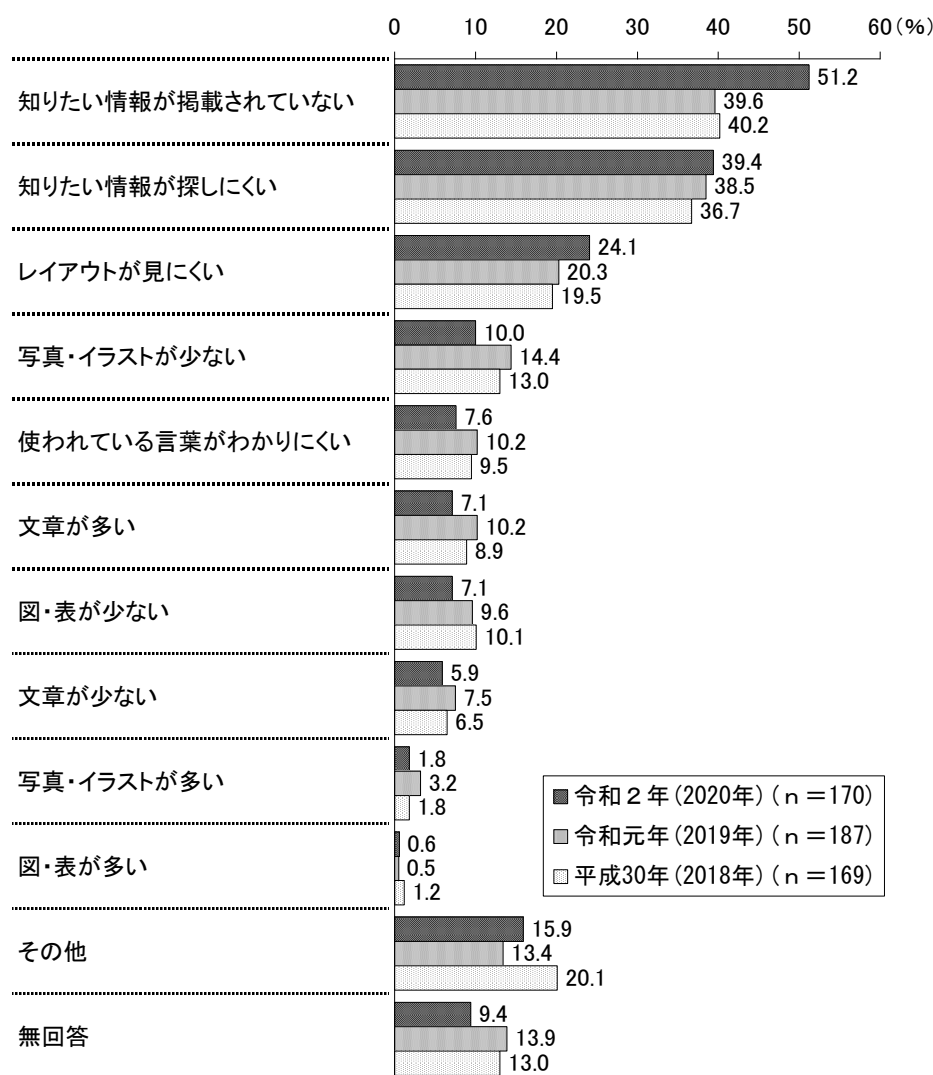
居住地域別にみると、「市政トピックス（最新の市政情報から重要なものを紹介）」は浅川・横山・館（西南部地域）（36.7%）で4割近くと多くなっている。「ウォッチング はちおうじ（市で行われたイベント等を写真で紹介）」は由木・由木東・南大沢（東部地域）（20.5%）で約2割と多くなっている。（図 2-6-3）

(7) 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由

◇「知りたい情報が掲載されていない」が5割強

(問11-1で「どちらかといえば不満である」または「不満である」とお答えの方へ)
問11-1-2 不満であると感じる理由を教えてください。(〇はいくつでも)

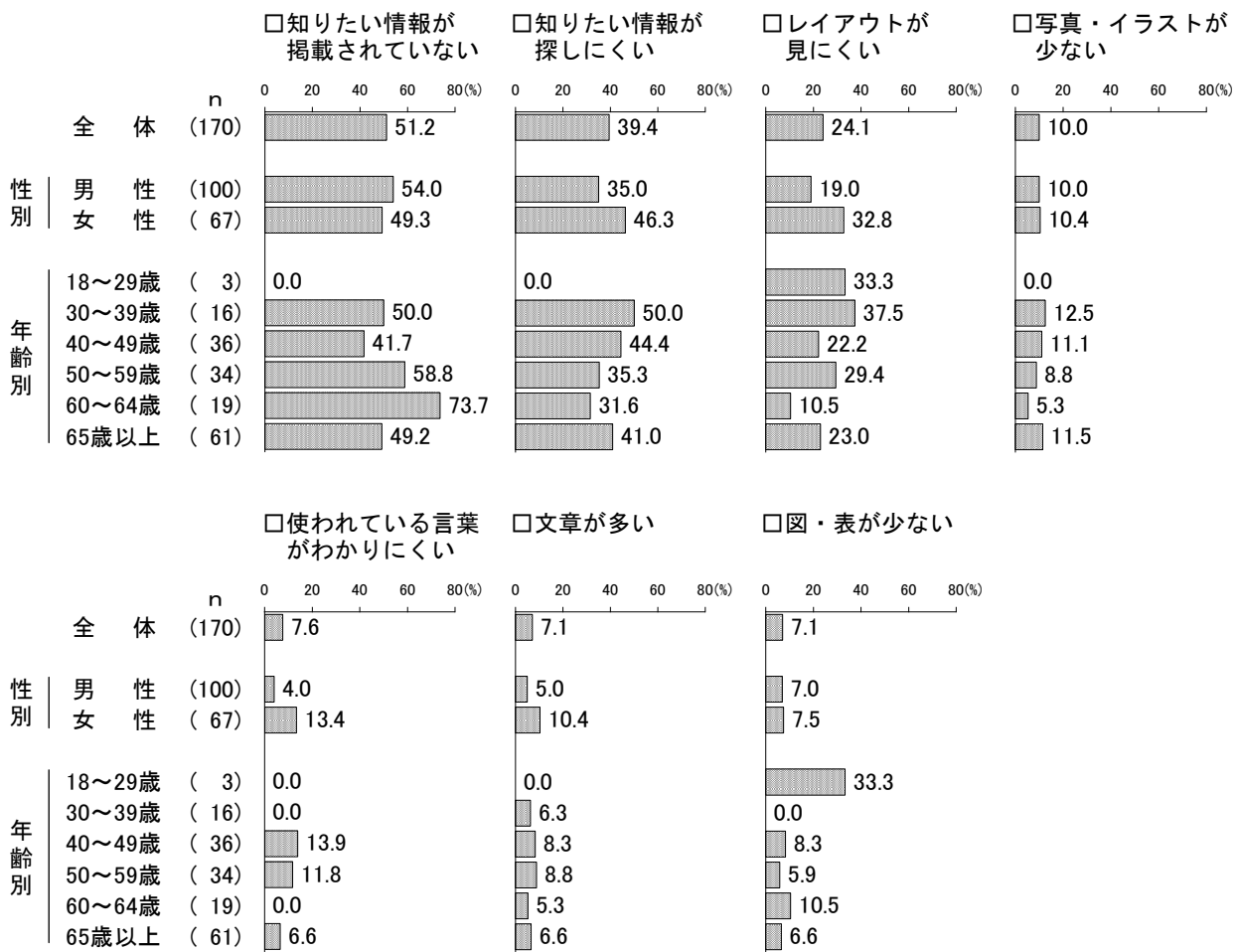
図2-7-1 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—全体、経年比較



「広報はちおうじ」についての感想で、「どちらかといえば不満である」または「不満である」と回答した170人に、不満であると感じる理由を聞いたところ、「知りたい情報が掲載されていない」(51.2%)が5割強で最も多くなっている。次いで「知りたい情報が探しにくい」(39.4%)、「レイアウトが見にくい」(24.1%)、「写真・イラストが少ない」(10.0%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「知りたい情報が掲載されていない」は令和元年(2019年)(39.6%)より11.6ポイント増加している。一方、「写真・イラストが少ない」は令和元年(2019年)(14.4%)より4.4ポイント減少している。(図2-7-1)

図 2-7-2 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—性別、年齢別（上位 6 位）

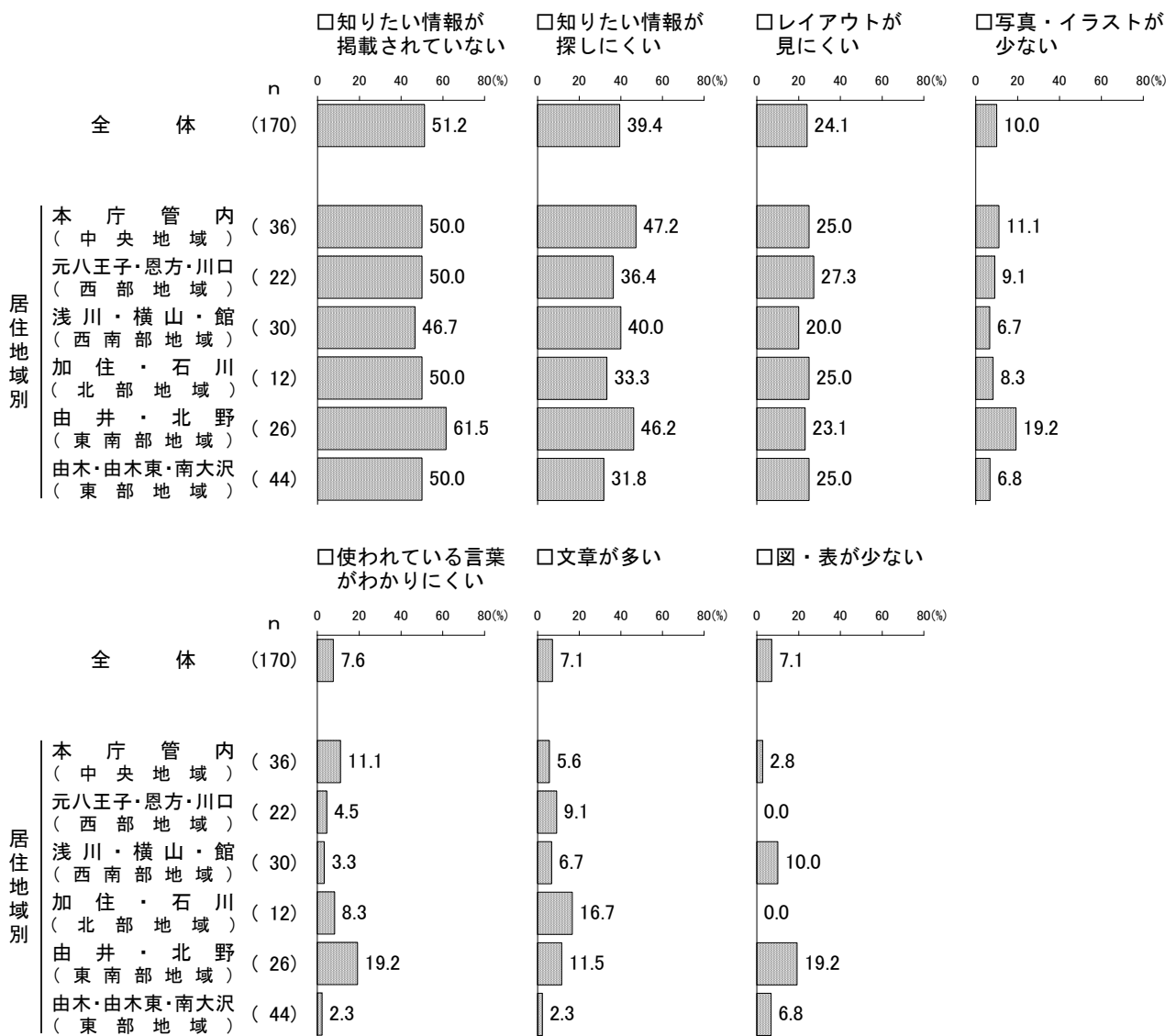


性別にみると、「レイアウトが見にくい」は女性（32.8%）が男性（19.0%）より13.8ポイント、「知りたい情報が探しにくい」は女性（46.3%）が男性（35.0%）より11.3ポイント、「使われている言葉がわかりにくい」は女性（13.4%）が男性（4.0%）より9.4ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「知りたい情報が掲載されていない」は男性（54.0%）が女性（49.3%）より4.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「知りたい情報が掲載されていない」は50~59歳（58.8%）で6割近くと多くなっている。「知りたい情報が探しにくい」は40~49歳（44.4%）で4割台半ばと多くなっている。

（図 2-7-2）

図2-7-3 「広報はちおうじ」に不満を感じる理由—居住地域別（上位6位）



居住地域別にみると、「知りたい情報が探しにくい」は本庁管内（中央地域）（47.2%）で5割近くと多くなっている。（図2-7-3）

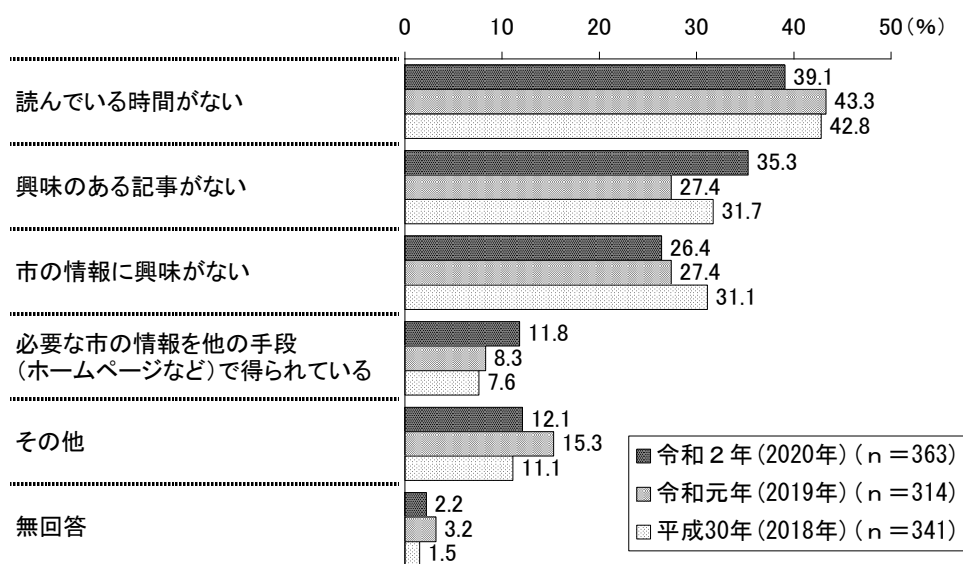
(8) 「広報はちおうじ」を読んでいない理由

◇「読んでいる時間がない」が4割弱

(問11で「読んでいない」とお答えの方へ)

問11-2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

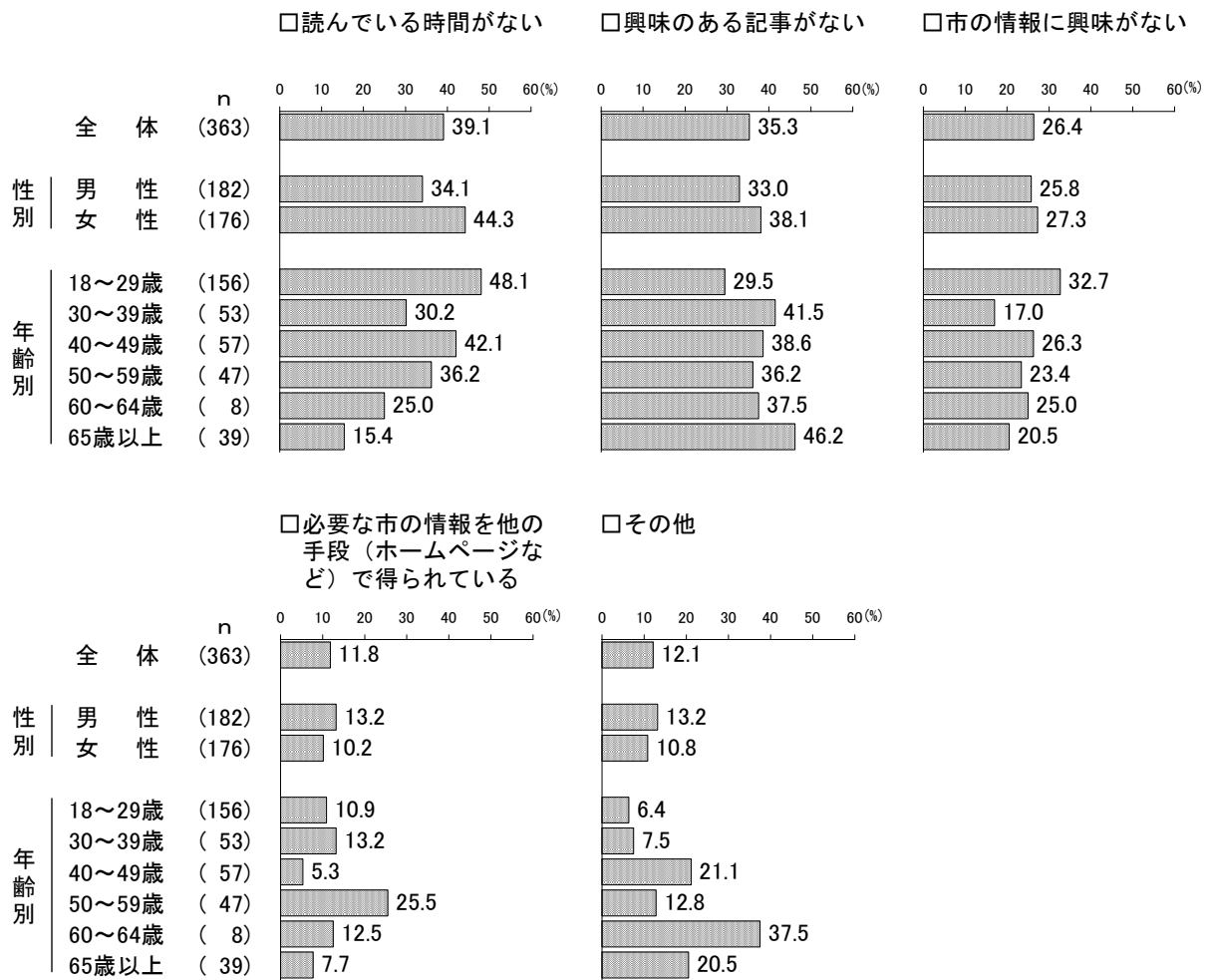
図2-8-1 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—全体、経年比較



「広報はちおうじ」を「読んでいない」と回答した363人に、読んでいない理由を聞いたところ、「読んでいる時間がない」(39.1%)が4割弱で最も多くなっている。次いで「興味のある記事がない」(35.3%)、「市の情報に興味がない」(26.4%)、「必要な市の情報を他の手段(ホームページなど)で得られている」(11.8%)の順となっている。

前回までの調査と比較すると、「興味のある記事がない」は令和元年(2019年)(27.4%)より7.9ポイント増加している。一方、「読んでいる時間がない」は令和元年(2019年)(43.3%)より4.2ポイント減少している。(図2-8-1)

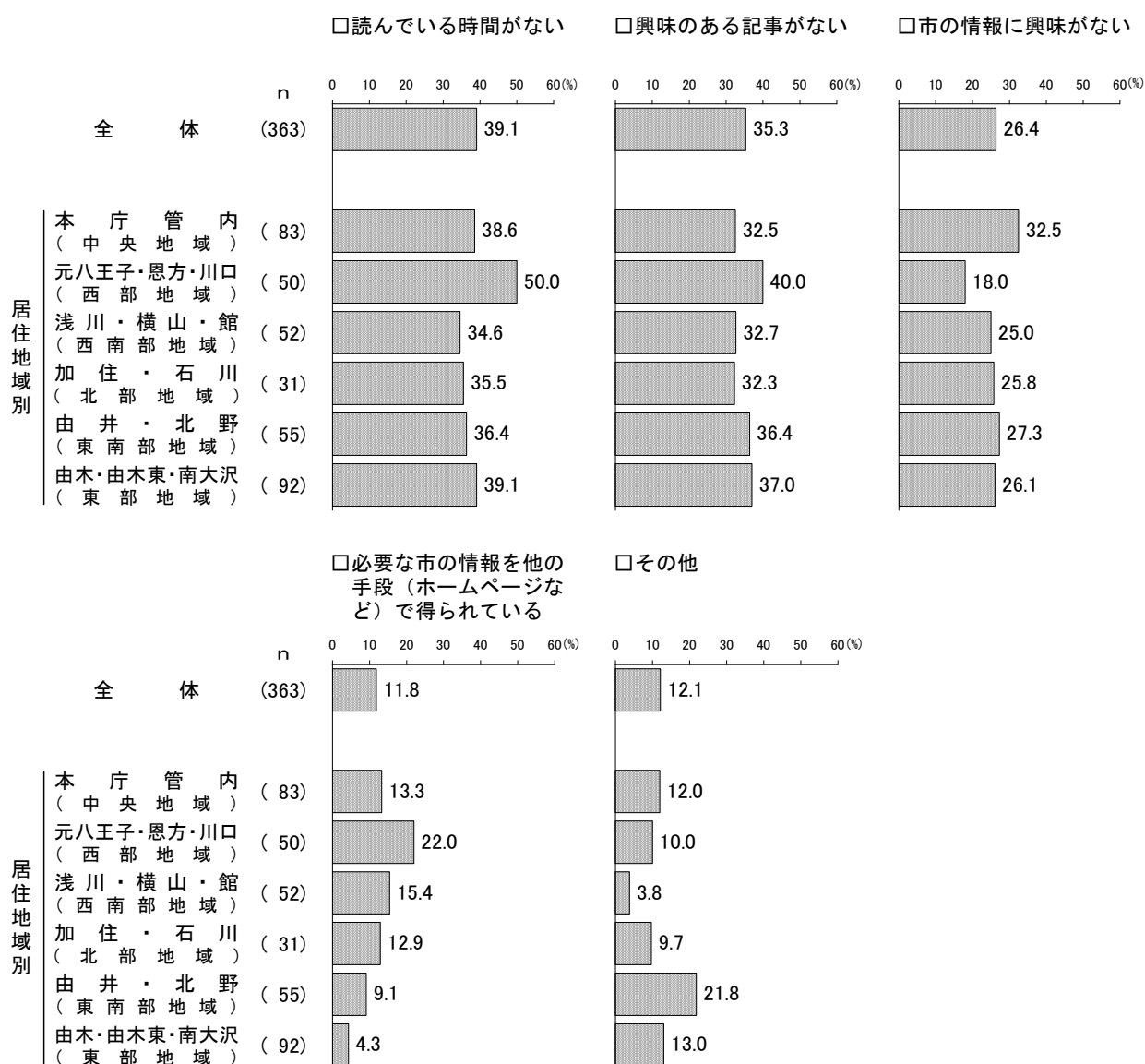
図 2-8-2 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—性別、年齢別



性別にみると、「読んでいない時間がない」は女性（44.3%）が男性（34.1%）より10.2ポイント、「興味のある記事がない」は女性（38.1%）が男性（33.0%）より5.1ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「必要な市の情報を他の手段（ホームページなど）で得られている」は男性（13.2%）が女性（10.2%）より3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「読んでいない時間がない」は18～29歳（48.1%）で5割近くと多くなっている。「興味のある記事がない」は65歳以上（46.2%）で5割近くと多くなっている。「市の情報に興味がない」は18～29歳（32.7%）で3割強と多くなっている。（図2-8-2）

図 2-8-3 「広報はちおうじ」を読んでいない理由—居住地域別



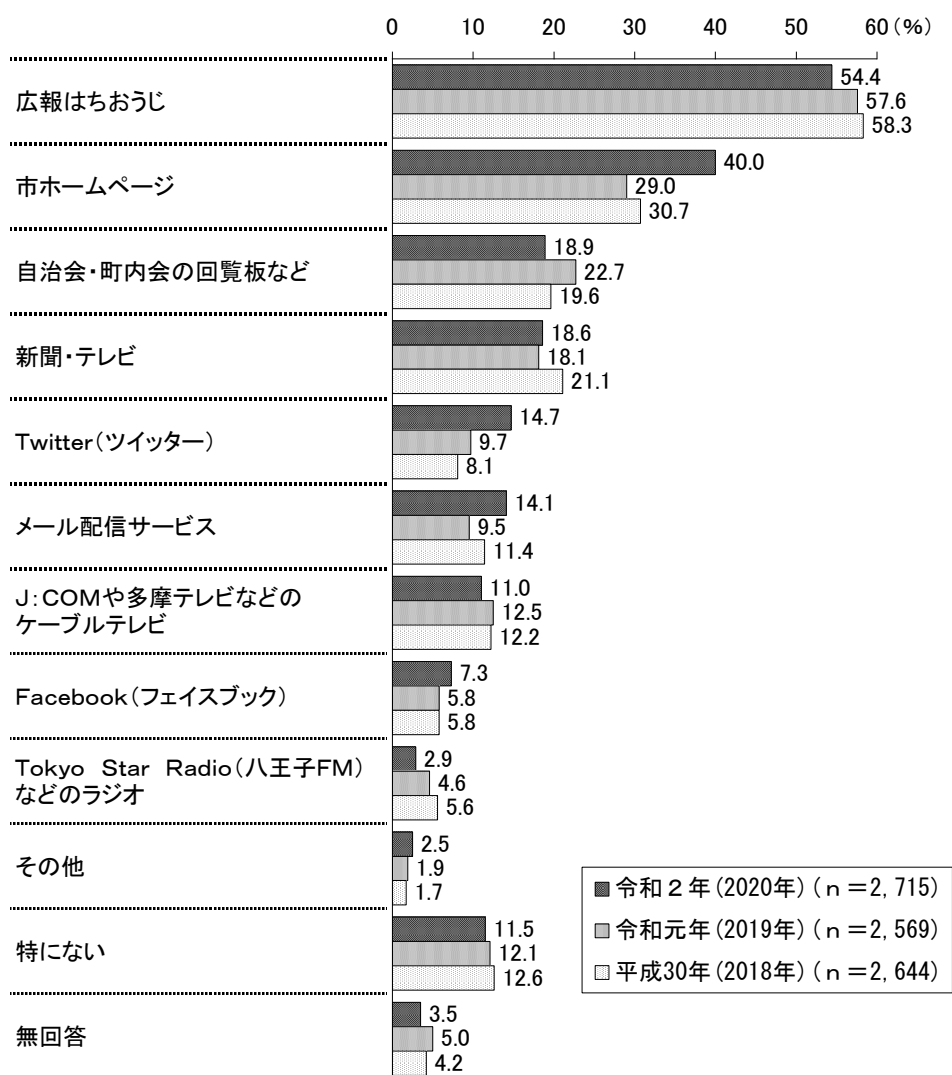
居住地域別にみると、「読んでいる時間がない」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（50.0%）で5割と多くなっている。「興味のある記事がない」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（40.0%）で4割と多くなっている。「市の情報に興味がない」は本庁管内（中央地域）（32.5%）で3割強と多くなっている。（図2-8-3）

(9) 今後充実させた方が良い広報媒体

◇「広報はちおうじ」が5割台半ば

問12 今後、市が情報を発信する上で、さらに充実させた方が良いと思うもの、または、積極的に活用した方が良いと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

図2-9-1 今後充実させた方が良い広報媒体－全体、経年比較

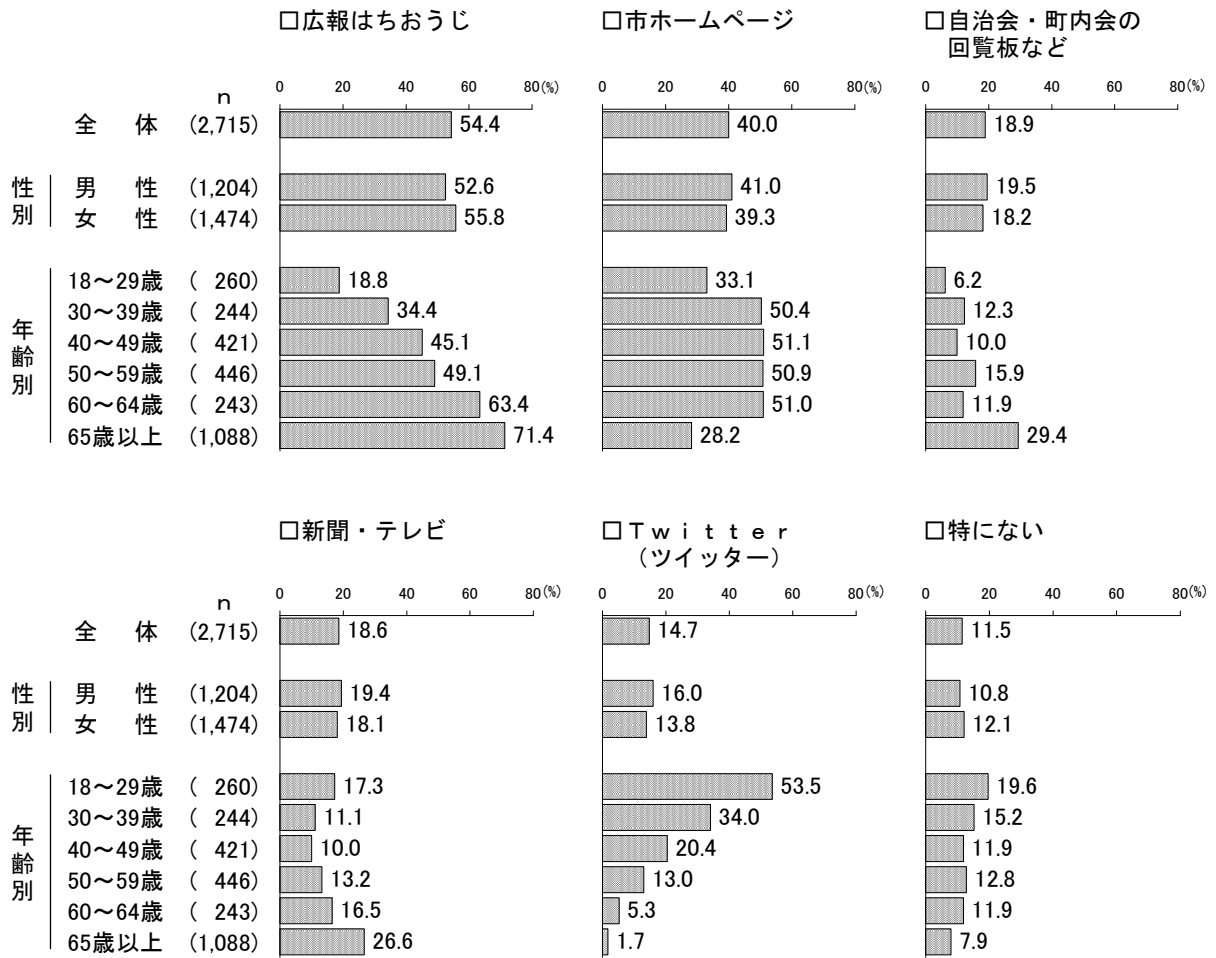


(注)「Tokyo Star Radio(八王子FM)などのラジオ」は、令和元年(2019年)までは、「八王子FMなどのラジオ」としていた。

今後充実させた方が良いと思う広報媒体を聞いたところ、「広報はちおうじ」(54.4%)が5割台半ばで最も多くなっている。次いで「市ホームページ」(40.0%)、「自治会・町内会の回覧板など」(18.9%)、「新聞・テレビ」(18.6%)、「Twitter(ツイッター)」(14.7%)などの順となっている。

前回までの調査と比較すると、「市ホームページ」は令和元年(2019年)(29.0%)より11.0ポイント、「Twitter(ツイッター)」は令和元年(2019年)(9.7%)より5.0ポイント、それぞれ増加している。(図2-9-1)

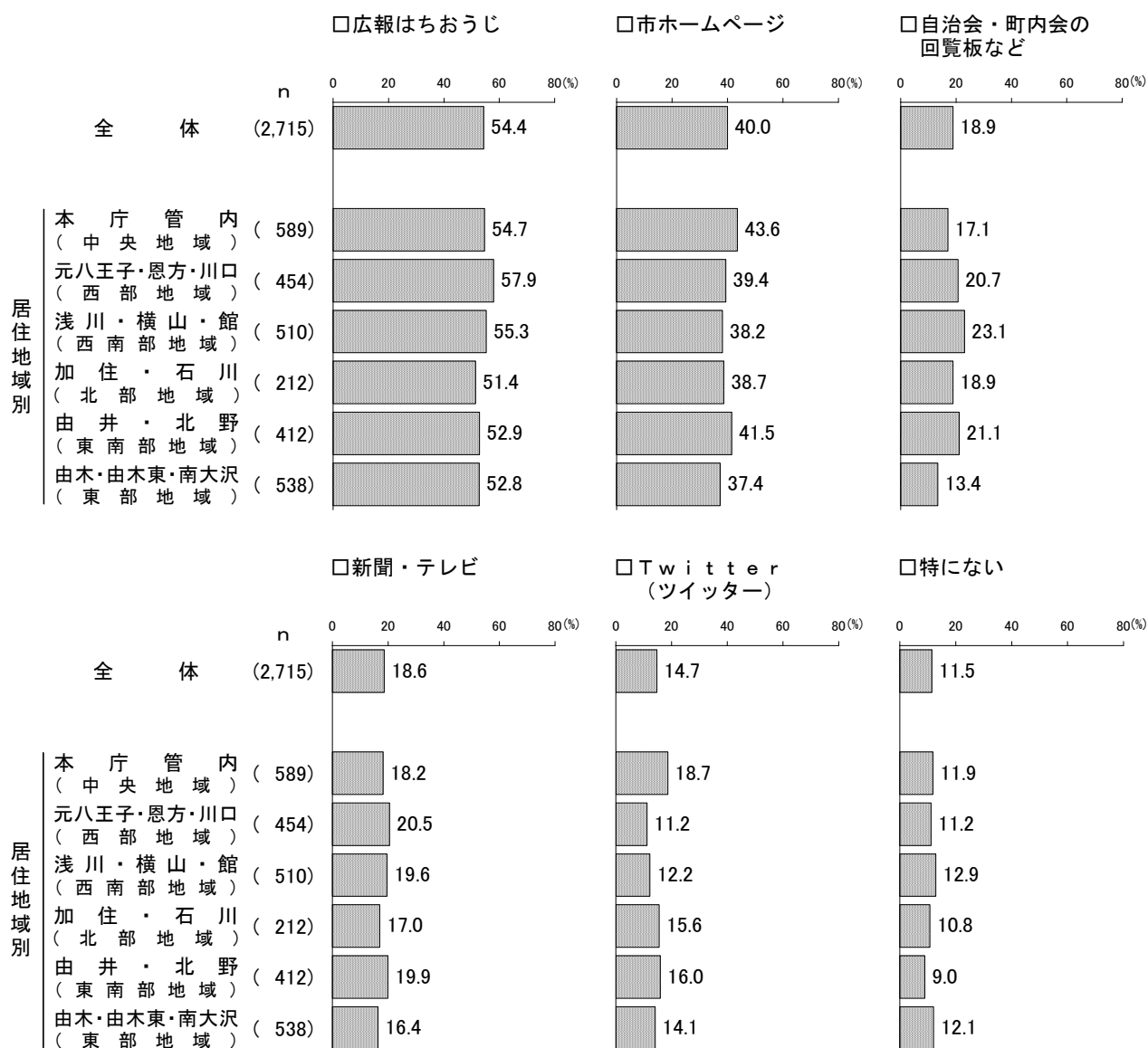
図2-9-2 今後充実させた方が良い広報媒体－性別、年齢別（上位5位＋「特にない」）



性別にみると、「広報はちおうじ」は女性（55.8%）が男性（52.6%）より3.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広報はちおうじ」は年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（71.4%）で7割強と多くなっている。「自治会・町内会の回覧板など」は65歳以上（29.4%）で3割弱と多くなっている。「Twitter（ツイッター）」は年代が低くなるほど割合が高く、18～29歳（53.5%）で5割強と多くなっている。（図2-9-2）

図2-9-3 今後充実させた方が良い広報媒体－居住地域別（上位5位＋「特にない」）



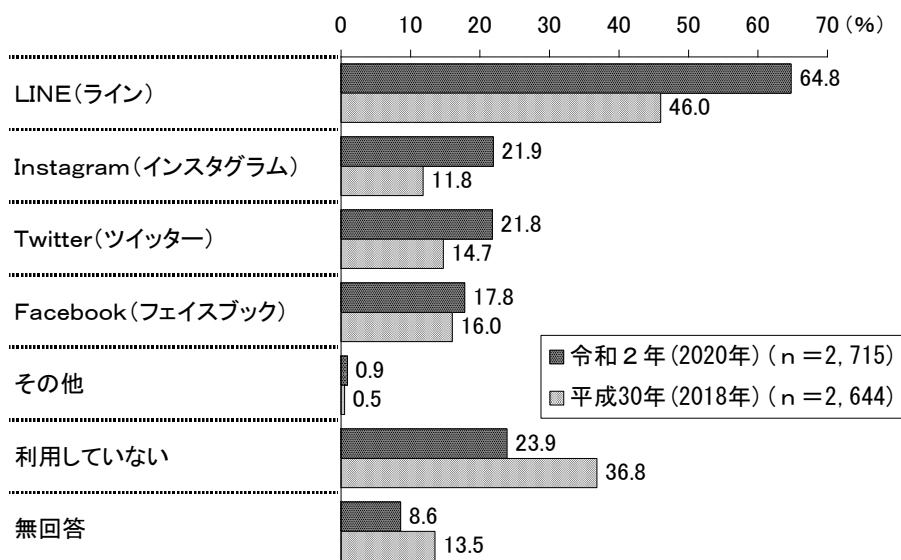
居住地域別にみると、「広報はちおうじ」は元八王子・恩方・川口（西部地域）（57.9%）で6割近くと多くなっている。「市ホームページ」は本庁管内（中央地域）（43.6%）と由井・北野（東南部地域）（41.5%）で4割強と多くなっている。（図2-9-3）

(10) SNSの利用状況

◇「LINE (ライン)」が6割台半ば

問13 現在、あなたが利用しているSNSを教えてください。(〇はいくつでも)

図2-10-1 SNSの利用状況—全体、経年比較



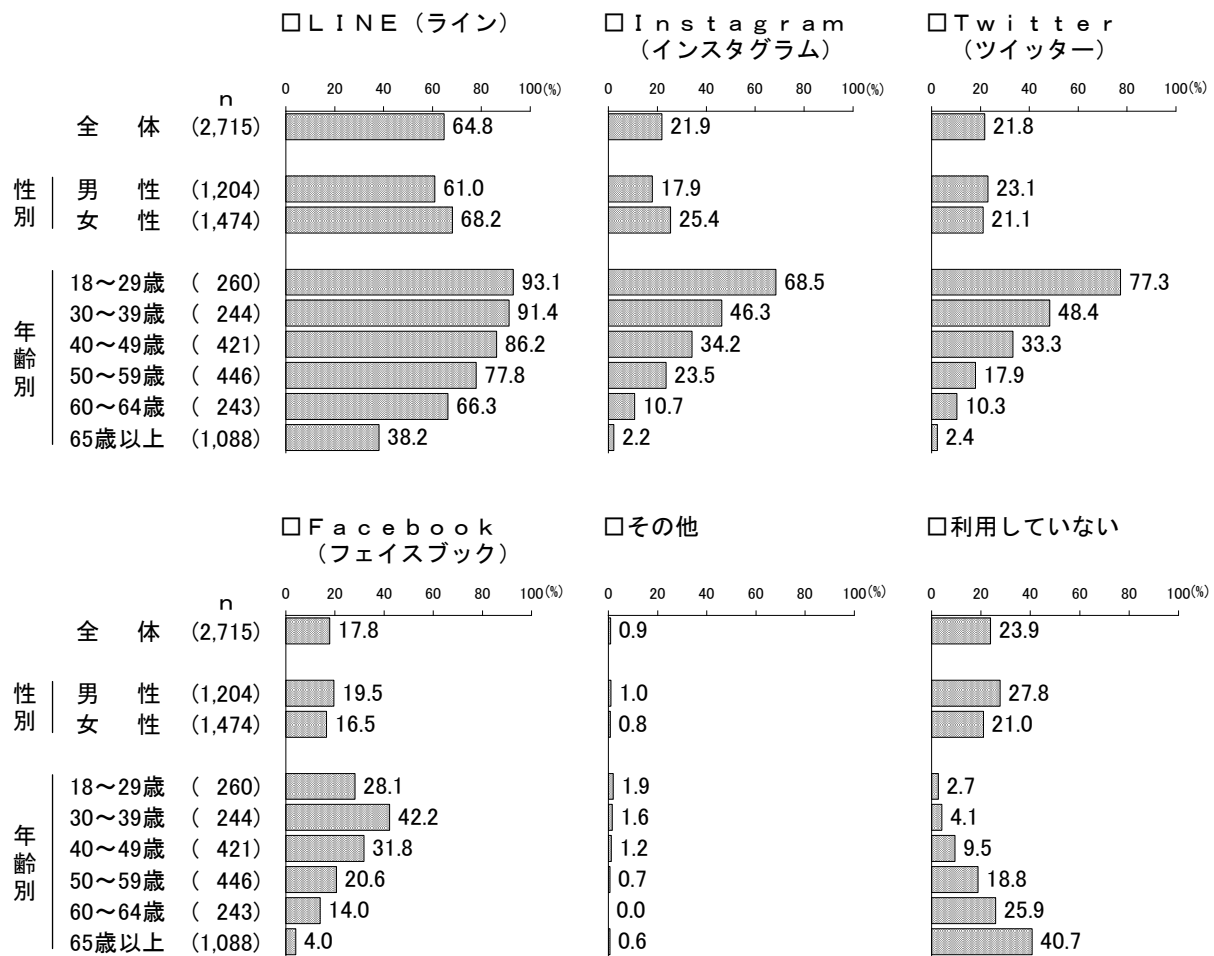
(注) 令和元年(2019年)は質問なし。

利用しているSNSを聞いたところ、「LINE (ライン)」(64.8%)が6割台半ばで最も多くなっている。次いで「Instagram (インスタグラム)」(21.9%)、「Twitter (ツイッター)」(21.8%)、「Facebook (フェイスブック)」(17.8%)の順となっている。一方、「利用していない」(23.9%)は2割強となっている。

前回の調査と比較すると、「LINE (ライン)」は平成30年(2018年)(46.0%)より18.8ポイント、「Instagram (インスタグラム)」は平成30年(2018年)(11.8%)より10.1ポイント、「Twitter (ツイッター)」は平成30年(2018年)(14.7%)より7.1ポイント、それぞれ増加している。

(図2-10-1)

図 2-10-2 SNSの利用状況—性別、年齢別

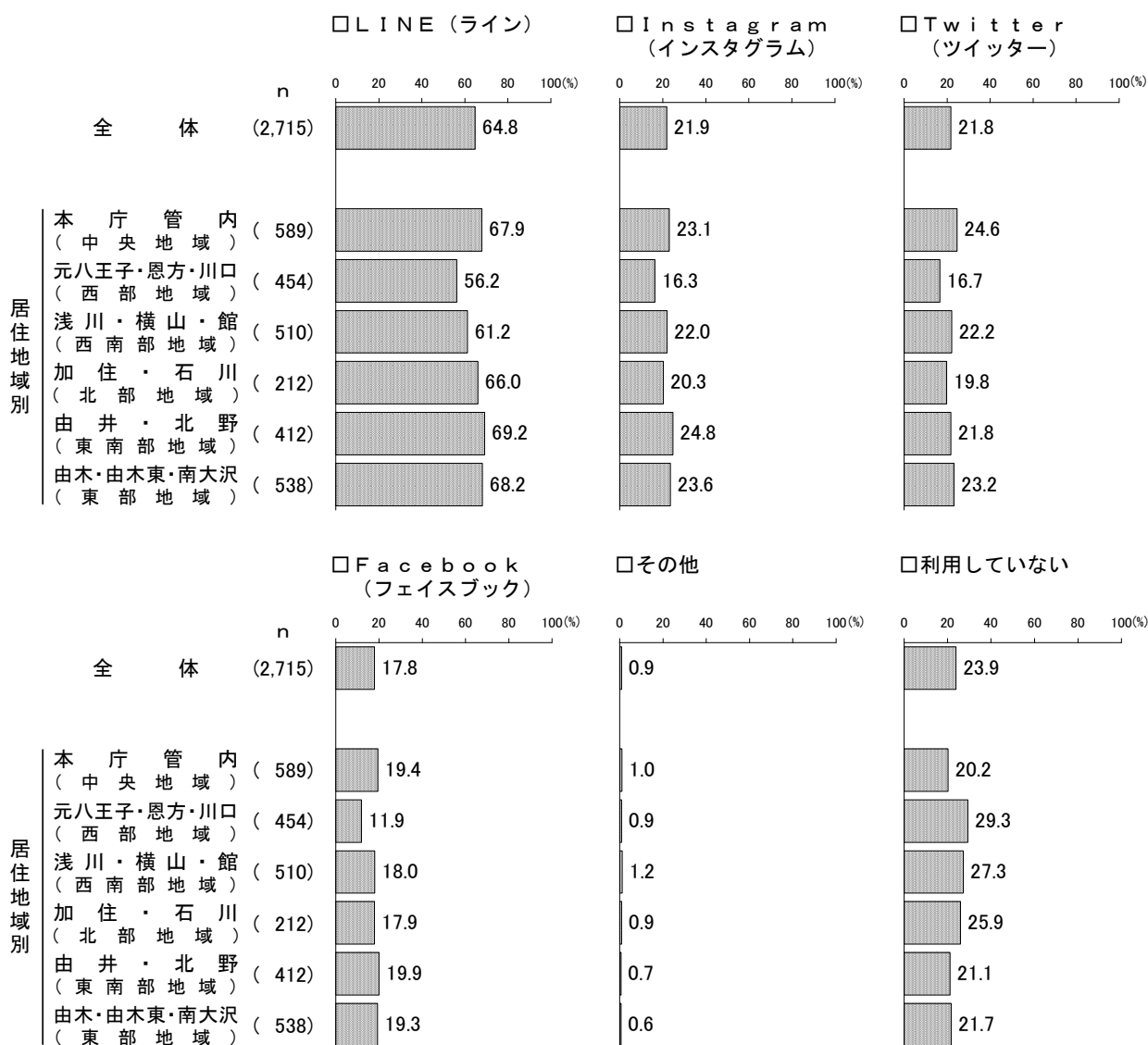


性別にみると、「Instagram (インスタグラム)」は女性 (25.4%) が男性 (17.9%) より7.5ポイント、「LINE (ライン)」は女性 (68.2%) が男性 (61.0%) より7.2ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「Facebook (フェイスブック)」は男性 (19.5%) が女性 (16.5%) より3.0ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「LINE (ライン)」「Instagram (インスタグラム)」「Twitter (ツイッター)」はいずれも低い年代ほど割合は高くなっており、18~29歳で「LINE (ライン)」(93.1%) が9割強、「Instagram (インスタグラム)」(68.5%) が7割近く、「Twitter (ツイッター)」(77.3%) が8割近くとなっており、その割合はいずれも他年代を上回って最も高くなっている。逆に「利用していない」は年代が上がるにつれてその割合が高まり、65歳以上 (40.7%) では約4割となっている。

(図 2-10-2)

図2-10-3 SNSの利用状況—居住地域別



居住地域別にみると、「LINE (ライン)」は由井・北野 (東南部地域) (69.2%) で7割弱と多くなっている。「Instagram (インスタグラム)」は由井・北野 (東南部地域) (24.8%) で2割台半ばと多くなっている。「Twitter (ツイッター)」は本庁管内 (中央地域) (24.6%) で2割台半ばと多くなっている。(図2-10-3)

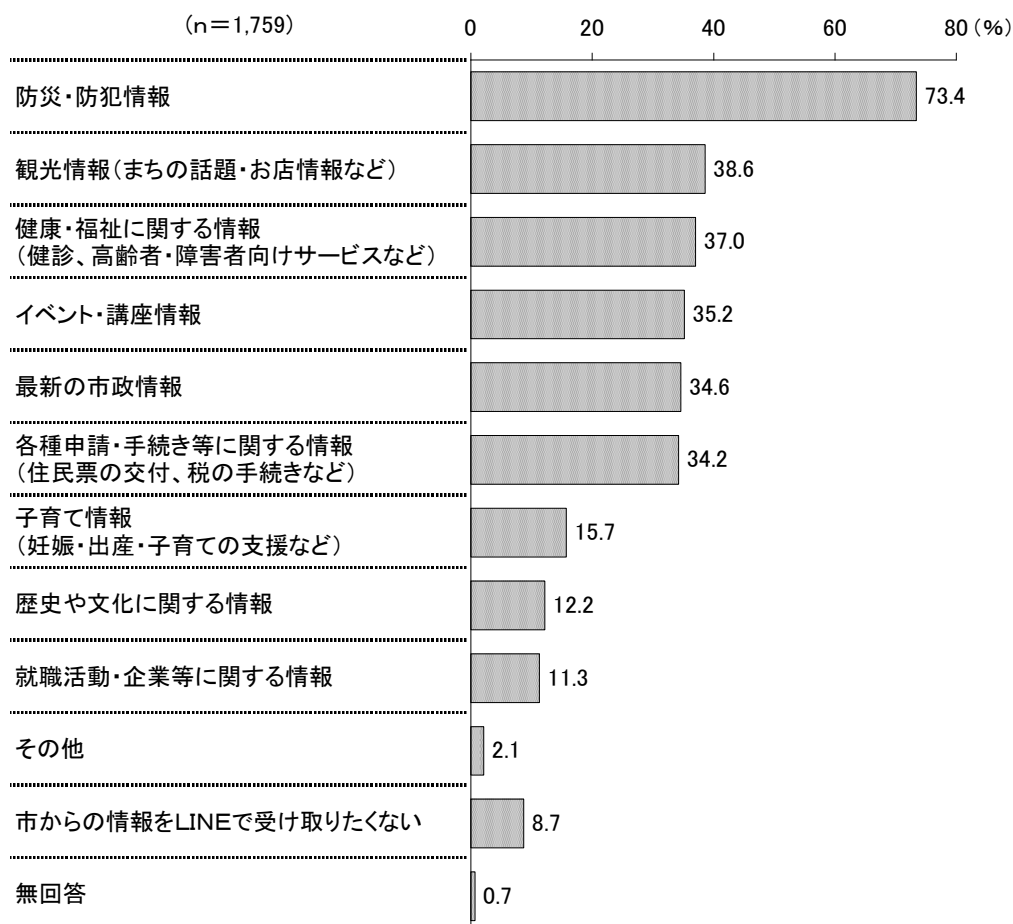
(11) LINEで取得したい情報

◇「防災・防犯情報」が7割強

(問13で「LINE (ライン)」とお答えの方へ)

問13-1 今後、市がLINEによる情報発信を始めた場合、どのような情報を取得したいですか。(〇はいくつでも)

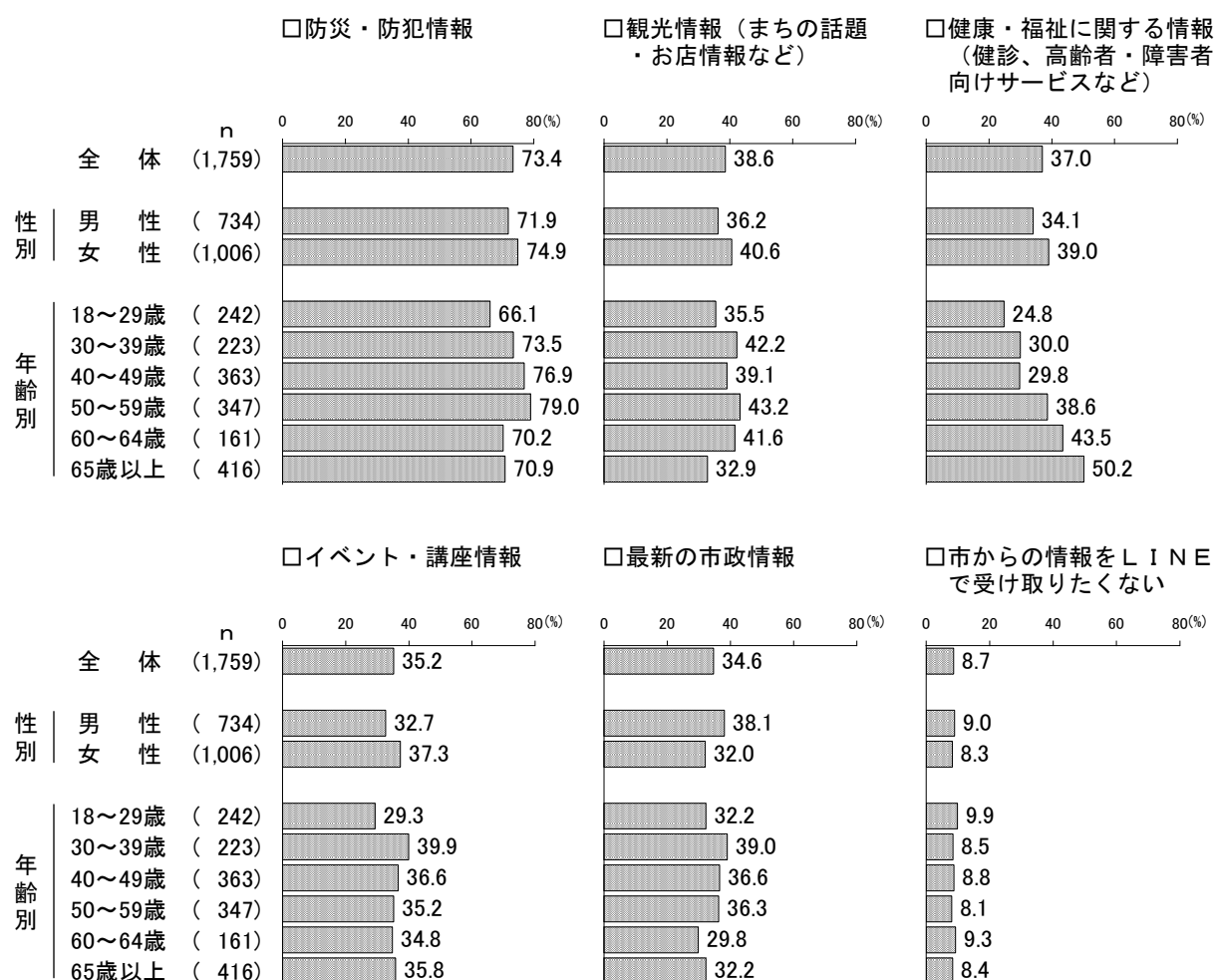
図2-11-1 LINEで取得したい情報—全体



(注) 新規の設問のため、経年比較はない。

SNSの利用状況で、「LINE (ライン)」を利用していると回答した1,759人に、市がLINEによる情報発信を始めた場合、どのような情報を取得したいか聞いたところ、「防災・防犯情報」(73.4%)が7割強で最も多くなっている。次いで「観光情報(まちの話題・お店情報など)」(38.6%)、「健康・福祉に関する情報(健診、高齢者・障害者向けサービスなど)」(37.0%)、「イベント・講座情報」(35.2%)、「最新の市政情報」(34.6%)、「各種申請・手続き等に関する情報(住民票の交付、税の手続きなど)」(34.2%)などの順となっている。(図2-11-1)

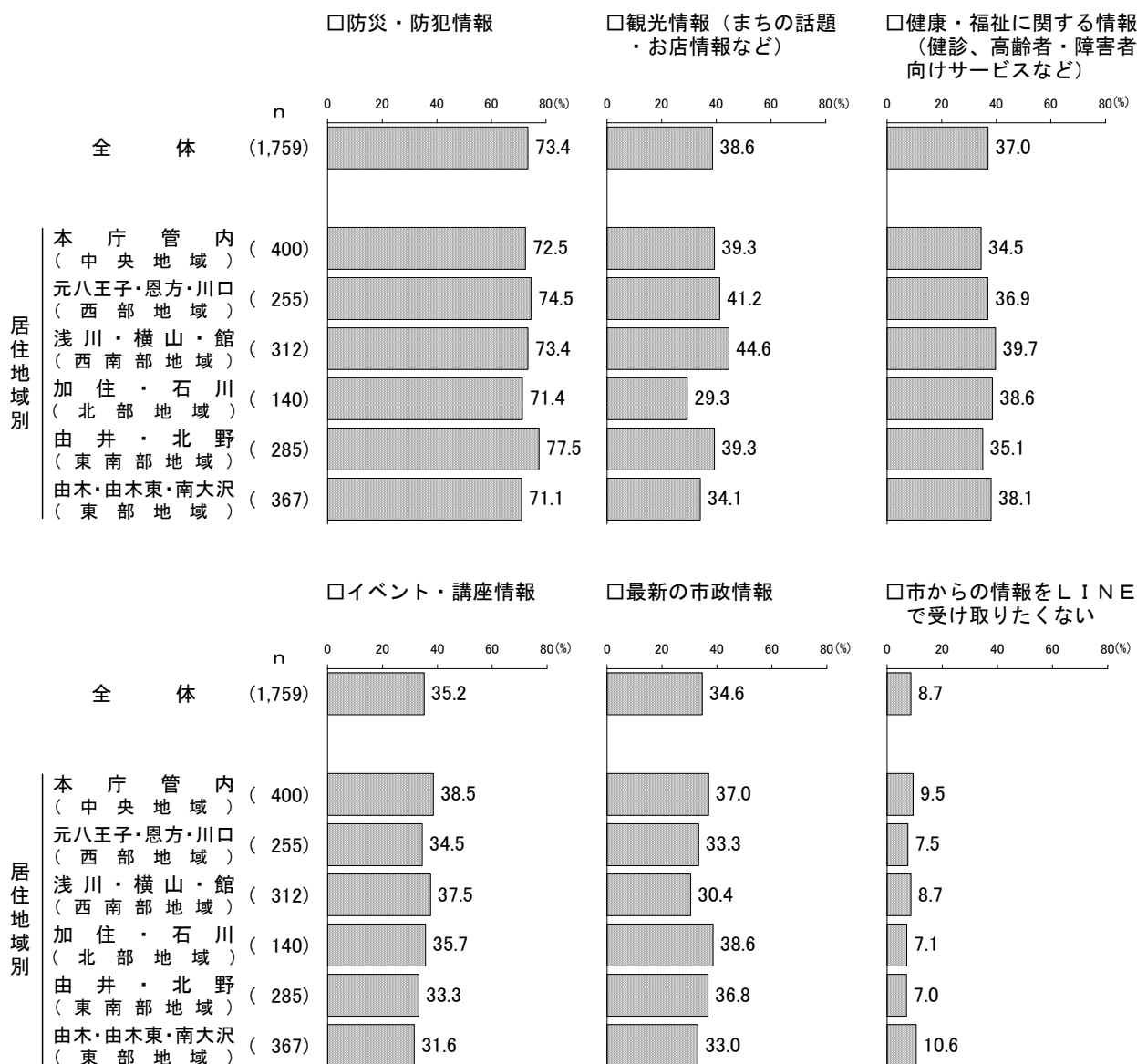
図2-11-2 LINEで取得したい情報－性別、年齢別
 (上位5位+「市からの情報をLINEで受け取りたくない」)



性別にみると、「最新の市政情報」は男性（38.1%）が女性（32.0%）より6.1ポイント高くなっている。一方、「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」は女性（39.0%）が男性（34.1%）より4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「防災・防犯情報」は50～59歳（79.0%）で8割弱と多くなっている。「健康・福祉に関する情報（健診、高齢者・障害者向けサービスなど）」はおおむね年代が高くなるほど割合が高く、65歳以上（50.2%）で約5割と多くなっている。「イベント・講座情報」は30～39歳（39.9%）で4割弱と多くなっている。（図2-11-2）

図2-11-3 LINEで取得したい情報－居住地域別
 (上位5位+「市からの情報をLINEで受け取りたくない」)



居住地域別にみると、「防災・防犯情報」は由井・北野(東南部地域)(77.5%)で8割近くと多くなっている。「観光情報(まちの話題・お店情報など)」は浅川・横山・館(西南部地域)(44.6%)で4割台半ばと多くなっている。「健康・福祉に関する情報(健診、高齢者・障害者向けサービスなど)」は浅川・横山・館(西南部地域)(39.7%)で4割弱と多くなっている。(図2-11-3)

(12) 市の情報発信に関する意見（自由意見）

問14 市からの情報発信について、ご意見がありましたらご自由にお書きください。(自由記述)

市の情報発信に関する意見を自由記述形式で聞いたところ、203人から回答があった。その中から抜粋した意見を掲載する。なお、内容については、記述の趣旨を損なわないように留意しながら一部要約したものがあ

- グルメやディープな店、新店舗情報などあったらいい。また、街の再開発における新しい建物やショッピングセンターの情報など。(男性18～29歳)
- 学校、保育園等の情報を希望者に定期的に流していただけると嬉しいです。例えば、各保育園の空き状況について、「待機の場合は現在何人目です！」等。(女性30～39歳)
- 昨年台風で洪水や土砂崩れのおそれがあった時に、市のホームページがアクセス過多なのか表示されなくなり、全く役に立たなかった。情報発信を行うのならば早急に対応してください。
(女性30～39歳)
- 若い世代の人が行政サービスに関わる機会は少ないと思うから、便利な情報や防災について、インスタグラムなど日頃使ってたじみやすいツールで発信すると良いと思います。(女性40～49歳)
- 不審者情報を発信してほしい。災害時の情報の受け取り方はどんな方法があるか知りたい。
(女性40～49歳)
- 台風時等の防災無線が全く聞こえません。音はしますが、反響して内容がわかりません。また、となりの相模原市等より、情報が遅いです。(女性40～49歳)
- 税金の使途を詳細に知りたい。(男性40～49歳)
- 紙媒体は減らしてください。情報がスピーディに発信されることに期待します。(男性40～49歳)
- 市ホームページの中に使い難い点あり。必要な情報になかなかたどり着かない場合がある。検索機能の充実化を希望する。(男性50～59歳)
- 市議会議員一人一人が具体的にどんな活動をし、どんな成果を上げ、どんな問題を抱えているのかを知りたい。(男性50～59歳)
- 市がどういう政策を行っているのか、もっと分かりやすく発信してほしい。(男性60～64歳)
- 防犯メールに登録していますので、防犯情報に役立っています。(女性65歳以上)
- 今や何でもパソコンやスマホの時代ですが、(私をふくめて)できない高齢者も大勢いると思います。そういう人を切り捨てないで情報を発信していただきたいと思っています。
(女性65歳以上)
- 普段SNSは利用していないので、年齢的にも「広報はちおうじ」が最も利用しやすいと思う。「広報はちおうじ」をもっと充実したものにしてもらったら情報を得やすいと思う。やはり活字が良いと思うし、いつでも読めるので。(女性65歳以上)
- 八王子の見どころ、観光にもう少し力を入れて発信して欲しい。八王子の特産にも力を入れ、発信して欲しいですね。(女性65歳以上)
- スポーツ等の情報や開催や募集等を発信してほしい。(男性65歳以上)
- コロナ感染者数について毎日確認しているが、どのような状況なのかがよくわからない。個人情報に関することもあると思うが、ある程度状況がわからなければ用心のしようがない。個人が特定できない形で具体的事例を知らせてもらいたい。(無回答65歳以上)